

取扱説明書

工事説明付き

CDミュージックプレーヤー

品番 **WB-655A**



上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは、CDミュージックプレーヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(5～7ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

はじめに

商品概要

本機は、業務用途を目的とした演奏装置のCDミュージックプレーヤーです。

- CD-BGMディスクを使用することで長時間演奏を行うことができます。
- 別売のCDマガジン（WB-MC5A）を使用して、市販の音楽CDを本機で演奏することができます。CDマガジンには、CDを5枚まで収納できます。

付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）	……………1冊	以下の付属品は取付工事に使用します。
保証書	……………1枚	ラックアングル ……………2個
		ラック取付ねじ（M5×10） ……………4本
		電源コード ……………1本

免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ② お客様の故意、誤使用や不注意による損害または本商品の破損など
- ③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
- ④ 本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、放送ができないなどで被る不便・損害・被害
- ⑤ 第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

著作権の利用手続きと使用料のお支払いのお願い

- 店舗などでCDなどからの音楽を「BGM」として利用する場合は、社団法人日本著作権協会（JASRAC）とご契約いただき使用料のお支払いが必要となります。
- JASRACと契約されたBGM専門会社から供給を受ける音楽ソフトについては、個別にご契約いただく必要はありません。BGM専門会社におたずねください。
- 福祉施設・病院・教育機関での利用、事務所・工場などでの主として従業員を対象とした利用については当分の間、使用料が免除されています（著作権法第38条第1項により）。
詳しい内容については、JASRAC本部または最寄りの支部にお問い合わせください。

記号のみかた



：該当する機能を使用するにあたり、制限事項や注意事項が書かれています。



：使用上のヒントが書かれています。

ご使用前に

はじめに	2
商品概要	2
付属品をご確認ください	2
免責について	2
著作権の利用手続きと使用料のお支払いのお願い	2
記号のみかた	2
安全上のご注意	5
使用上のお願い	8
コンパクトディスク（CD）について	9
ディスクの種類について	9
音楽ソフトについて	9
各部のなまえと働き（前面パネル）	10

ご使用前に

操作

設置・設定

必要なとき

操作

CD-BGMディスクを使用して演奏する＜基本操作＞	12
電源を入れる	12
CDマガジンを挿入する	12
演奏するディスクを選択する	13
演奏するチャンネルを選択する	13
演奏を開始する	14
主音量を調節する	14
演奏を一時停止する	14
演奏を終了する	15
CDマガジンを取り出す	15
電源を切る	15
曲目の選択のしかた	16
チャンネル内の曲目を選択するとき	16
演奏中に曲目を変えるとき	16
シャッフル演奏する	18
カード演奏（プログラム演奏）	19
カード演奏とは	19
カード使用時のお願い	19
カード演奏のしかた	20
市販の音楽CDの演奏	22
調節のしかた	24
表示画面形式を切り替える	24
演奏中にモニター音量を調節する	26

設置・ 設定

設置上のご注意	27
各部のなまえと働き（後面パネル）	28
ラックへの取り付けかた	29
接続のしかた	30
外部アンプの接続	30
プログラムコントローラーの接続	30
動作中出力端子の接続	31
時計同期入力端子の接続	32
応用システムの接続のしかた	34
設定のしかた	39
各種機能について	39
設定画面を表示する	40
音量を調整する	41
内部時計の時刻を合わせる	42
内部時計を0秒にリセットする	43
カード演奏時の音量レベルを調整する	44
フェーダー機能を設定する	45
内部時計を1時間単位で調整する	47
主音量機能を切り替える	48
ミキシング音量を調整する	49
DIPスイッチの設定	50

必要な とき

故障かな!?	52
エラーコード表	54
リセットスイッチについて	55
仕様	56
設定シート	57
保証とアフターサービス	58

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人やほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 必ず販売店に依頼してください。

異物を入れない



禁止

水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない



分解禁止

火災や感電の原因になります。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いが出るなど、そのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

不安定な場所に置かない



禁止

落下などでけがの原因になります。

電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く



コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

安全上のご注意 **必ずお守りください**

警告

電源プラグのほこりなどは定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)



禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。

機器の上や周囲に水などの入った容器を置かない



水ぬれ禁止

水などが中に入った場合、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

雷のときは工事、配線をしない



禁止

火災や感電の原因になります。

必ずアース接続を行う



本機はアース接続が必須です。アース接続を行わないと、感電するおそれがあります。

- アース接続工事は必ず販売店にご依頼ください。

取り付けねじは、しっかりとしめる



落下などで、けがの原因になります。

- 取付工事は販売店に依頼してください。

⚠ 注意

通風孔をふさがない



禁止

内部に熱がこもり故障の原因になります。

湿気やほこりの多い場所に設置しない



禁止

火災や感電の原因になります。

使用上のお願い

 **警告** に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

●**使用電源は、AC 100 Vです。**

消費電力の大きな機器（複写機、空調機器など）と同じコンセントから電源をとらないでください。

●**使用温度範囲は、+5℃～+40℃です。**

この温度範囲以外で使用すると、内部の部品に悪影響を与え、故障または誤動作の原因になります。

●**内蔵バックアップ電池の充電と寿命について**

本機は、停電などのときに設定した内容が消えないように、バックアップ電池を内蔵しています。お買い上げ直後は充電が充分でないため、24時間以上の連続通電を行って電池を充電してください。

本機の設定保証期間は20日間ですが、電池の充電が不十分な場合は保証期間が短くなり、長期間電源プラグをコンセントから抜いたり停電した場合に、設定した内容が消えてしまう恐れがありますのでご注意ください。

●**電源スイッチについて**

電源スイッチを「切」にただけでは、電源は遮断されません。電源を遮断するときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●**使用場所について**

- 本機を水滴のかかる場所には置かないでください。
- 本機の上や周囲に花瓶など水の入った容器を置かないでください。
- 振動のない水平な場所に置いてください。

●**結露について**

結露は、故障の原因になりますので注意してください。

以下のようなときに結露が発生しやすくなります。

- 湿度が高いとき
- 冷たい場所から、温度や湿度の高い場所に移動したとき

結露が発生した場合は、電源を入れてから1～2時間程度置いてご使用ください。

●**お手入れについて**

汚れたときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）をやわらかい布にしみ込ませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いたやわらかい布で洗剤成分を完全にふき取ってください。ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

●**長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。**

コンパクトディスク (CD) について

ディスクの種類について

本機で演奏できるディスクは、CD-BGMディスクとCD-DAディスクです。
コピーコントロールCDなどCD-DA規格に準拠していないディスクは使用できません。

●CD-BGMディスクとは

CD-I規格の音声圧縮方式を採用して制定された「CD-BGM規格」に基づくディスクです。音声はCD-I規格のレベルBで記録されており、FM放送レベルの音質で多チャンネル構成による長時間演奏が可能です。曲名情報も記録できますので、放送中の曲名を本機の表示画面で確認することも可能です。一部のディスクには曲名、曲番情報のないものもありますが、そのようなディスクでは曲番表示部に「00」と表示されます。

●CD-DAディスクとは

「CD-DA規格」に基づくディスクで、市販のCDはこの規格に基づいて作られています。この規格のディスクには、右のロゴが表示されています。チャンネルがないため、チャンネルの選択操作はできません。



※本説明書では、特にことわりのない限りCD-BGMディスク（曲番情報あり）を前提に説明しています。

音楽ソフトについて

BGMの音楽ソフトは、BGM専門会社とご契約いただくことにより供給されます。市販のCDを演奏される場合は、別売のCDマガジン（WB-MC5A）が必要です。

●専門BGMソフトのご利用（BGM専門会社とのご契約）

- BGM専門会社とご契約いただくことにより、BGM専用で作成された音楽ソフト（ディスク）がCDマガジンにセットされて供給されます。
- ディスクのタイプはCD-BGM規格に基づくディスク（CD-BGMディスク）が基本ですが、市販CD規格に基づくディスク（CD-DAディスク）も含まれます。
- また、ご使用目的に合わせてプログラムされたミュージックメモリーカード（MMカード）やお客様専用のメッセージディスクなど、お客様のご要望によって製作されて供給されます。

専門BGMソフトは、音環境の様々な演出目的に対して、それぞれ専門的に、十分に吟味された曲の選定や構成、音づくりによって、最適なサウンドにデザインされております。また、著作権に関してもBGMとして安心してご使用いただけます（JASRACと契約されているBGM専門会社で製作されたとき）。

長時間演奏（CD-BGMディスクの場合）や、ミュージックメモリーカード（MMカード）での時間帯ごとの雰囲気作りにマッチした運用とあいまって、効果的なBGM環境を実現いただくために、BGM専門会社とのご契約をおすすめします。

ご契約については、お買い上げの販売店またはBGM専門会社にご相談ください。

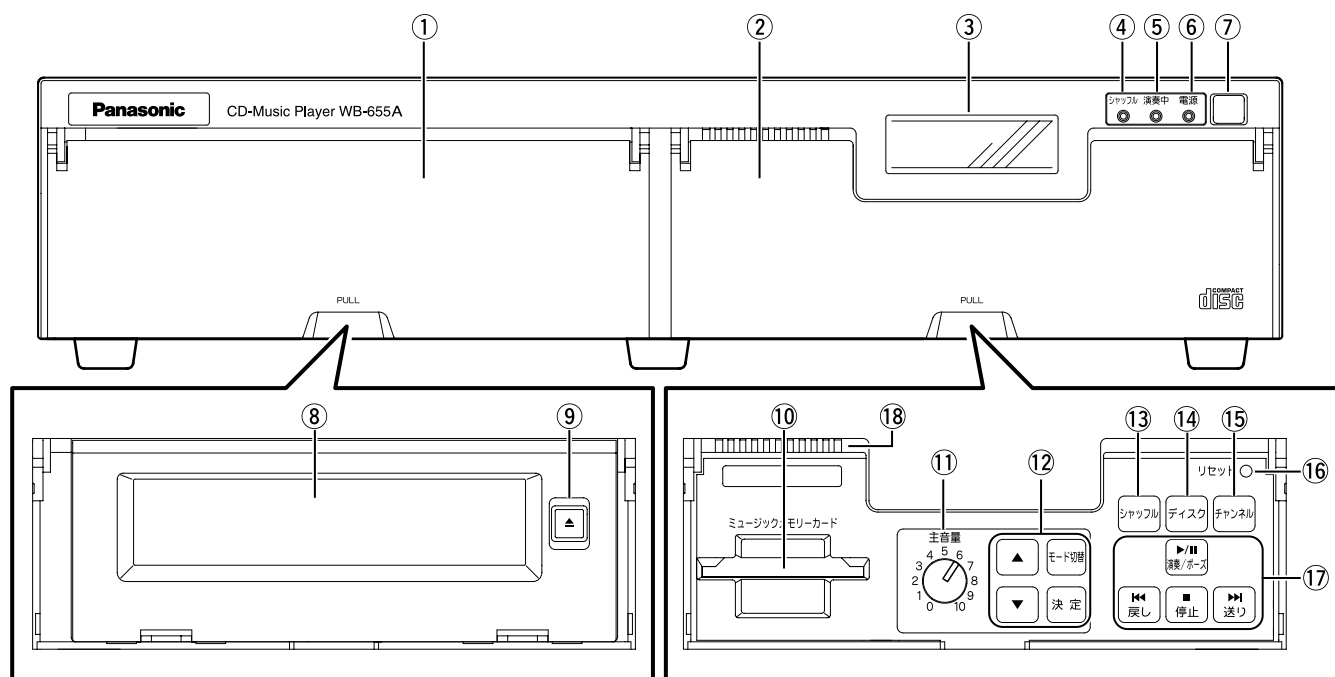


- BGM専門会社から供給されるディスクマガジンは、ソフト保護のためディスクの取り出しができないようになっています。誤ってディスクが入れ換わりますとプログラム演奏が正しく行われなため、ディスクは絶対に取り出さないでください。

●市販のCDのご利用

市販のCD（CD-DAディスク）を本機で演奏するには、別売のCDマガジン（WB-MC5A）が必要です。ディスクの格納については、CDマガジンの取扱説明書をお読みください。

各部のなまえと働き (前面パネル)



① CDマガジン挿入口保護カバー

PULL表示の下側部分を上にあげるとカバーが開きます。

② 操作部保護カバー

PULL表示の下側部分を上にあげるとカバーが開きます。

③ 表示画面

ディスク、チャンネル、曲番や、ボリューム設定値、時刻などを表示します。

④ シャッフル表示灯【シャッフル】

シャッフル演奏の設定をすると点灯します。
シャッフル演奏とは、ディスク内の曲を順不同に演奏する方法です。ディスク内のすべての曲を演奏すると、次のディスクに移動して順不同に演奏します。

⑤ 演奏中表示灯【演奏中】

CDを演奏しているときに点灯します。

⑥ 電源表示灯【電源】

電源を入ると点灯します。

⑦ 電源スイッチ

電源を入／切します。誤操作防止のため、2秒以上押さないと電源の入／切ができないようになっています。

⑧ CDマガジン挿入口

CDマガジンを挿入します。挿入するときは、「カチッ」と音がするまで押し込みます。

⑨ 取り出しボタン

CDマガジンを取り出すときに押します。

⑩ ミュージックメモリーカード挿入口【ミュージックメモリーカード】

BGM専門会社から供給されるミュージックメモリーカード（MMカード）を挿入します。（→19ページ）

⑪ 主音量つまみ【主音量】

主音量を調節します。

⑫ 設定ボタン【▲、▼、モード切替、決定】

この4つのボタンで各種機能の設定を行います。

⑬ シャッフルボタン【シャッフル】

シャッフル演奏をするときに押します。

⑭ ディスクボタン【ディスク】

次のディスクを選択するときに押します。

⑮ チャンネルボタン【チャンネル】

次のチャンネルを選択するときに押します。
ディスク内のチャンネル選択になります。

⑯ リセットスイッチ【リセット】

使用しないでください。

⑰ 操作ボタン

【▶/|| 演奏/ポーズ、◀◀ 戻し、■ 停止、▶▶ 送り】
CDの操作をします。

▶/|| : 停止中に押すと演奏を開始します。演奏中に押すと一時停止します。

◀◀ : 演奏中に押すと曲の始めから演奏します。続けて押すとその前の曲の始めから演奏します。

■ : 演奏中に押すと停止します。

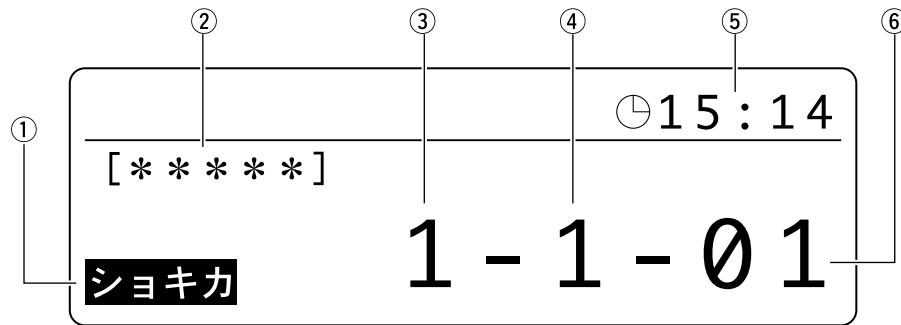
▶▶ : 演奏中の曲をとばし、次の曲の始めから演奏します。

⑱ モニタースピーカー

演奏中の曲を聞くことができます。

●表示画面

工場出荷状態での表示項目は以下のとおりです。



① 動作状態

プレイ、スタンバイなど、本機の動作状態を表示します。

② 曲名

演奏している曲の名前（本取扱説明書の画面上は「*****」で記載）を表示します。ただし、曲名情報のないディスクのときは表示されません。

③ ディスク

ディスク番号を表示します。

ディスク番号とは、CDマガジンのトレーに収納されているCDを下側から順に1枚目、2枚目…5枚目と割り当てた番号です。CDが入っていない番号は表示されません。

④ チャンネル

チャンネル番号を表示します。

ディスク内にチャンネル番号が割り当てられているときに表示されます。市販のCD（CD-DAディスク）にはチャンネル番号がないので、「0」が表示されます。

⑤ 時刻

時刻を表示します。時刻の合わせかたは、「内部時計の時刻を合わせる」（→42ページ）をお読みください。

⑥ 曲番

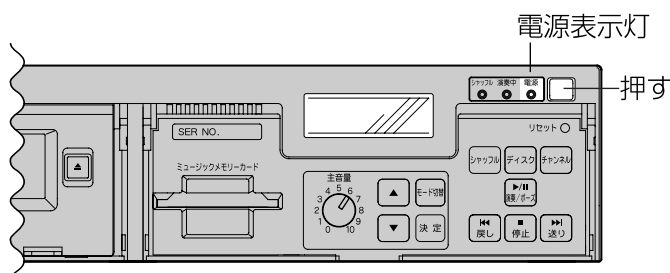
曲の番号を表示します。



●後面パネルについては、「各部のなまえと働き（後面パネル）」（→28ページ）をお読みください。

CD-BGMディスクを使用して演奏する＜基本操作＞

電源を入れる

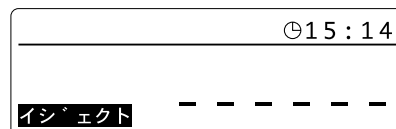


(電源スイッチ)



を2秒以上押す

電源が入り、電源表示灯が点灯します。



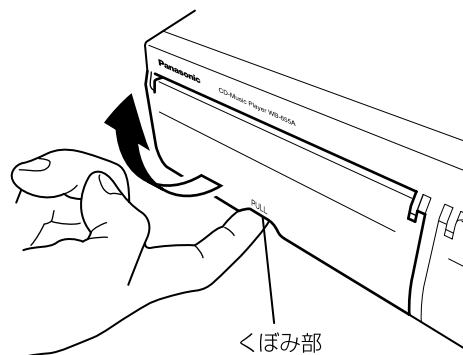
操
作

CDマガジンを挿入する

1 CDマガジン挿入口カバーを開ける

カバー中央部のくぼみに指をかけて、手前に引いて開けます。

カバーを開ききると、カバー位置は保持されます。



2 CDマガジンをCDマガジン挿入口に押し込む

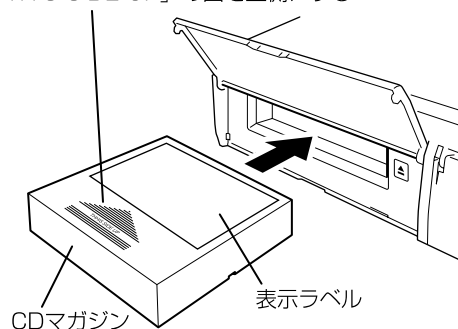


- CDマガジン内にあるディスクを乗せるトレイの色がすべて青色であることを確認してください。青色以外のトレイがあると、CDマガジンを押し込んでも挿入されません。

表示ラベルがはられ、「THIS SIDE UP」と書かれている面を上側にして、「カチッ」と音がするまで押し込みます。挿入されると、CDマガジン内のディスクのチェックを開始します。チェックには、1枚あたり約10秒程度かかります。

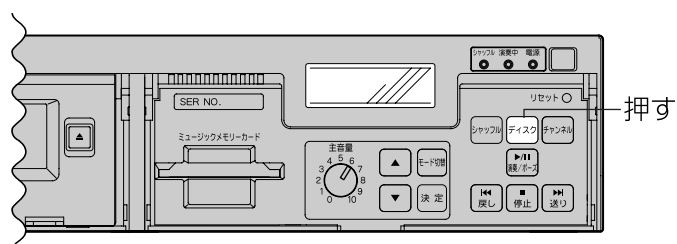
- オートスタートに設定されているときは、CDマガジンを挿入すると、ディスクのチェック完了後、自動的に1番目の曲から演奏を始めます。(→50ページ)

「THIS SIDE UP」の面を上側にする



CD-BGMディスクを使用して演奏する＜基本操作＞

演奏するディスクを選択する



ディスクを押して、演奏したい曲目が入ったディスクを選択する

ディスクを押すたびに、ディスク番号が1→2…5→1と切り替わります。

⌚15:14
スタンバイ 1 - 1 - 01

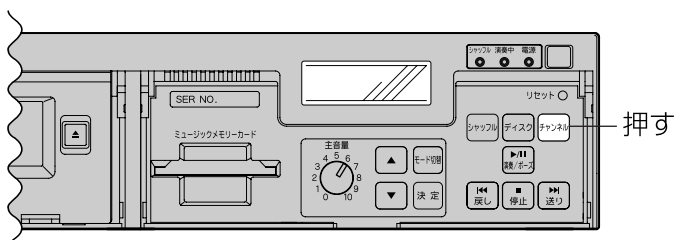


⌚15:14
スタンバイ 2 - 1 - 01

操
作

演奏するチャンネルを選択する

※市販の音楽CDの場合、この操作は不要です。



チャンネルを押して、演奏したいチャンネルを選択する

チャンネルを押すたびに、チャンネル番号が切り替わります。

⌚15:14
スタンバイ 2 - 1 - 01

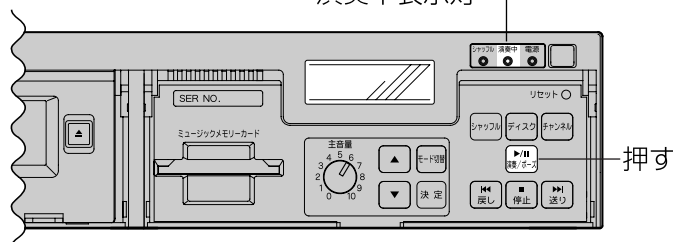


⌚15:14
スタンバイ 2 - 3 - 01

CD-BGMディスクを使用して演奏する＜基本操作＞

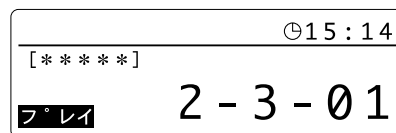
演奏を開始する

演奏中表示灯



演奏/ポーズを押す

演奏が開始され、演奏中表示灯が点灯します。

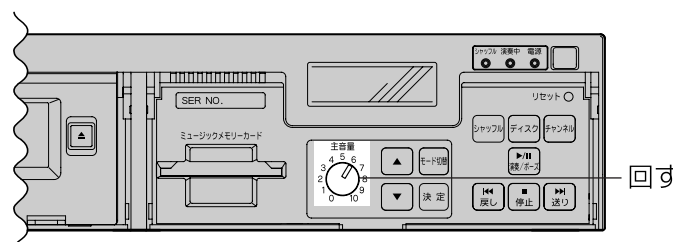


操作

主音量を調節する



を回して、演奏する音量を調節する



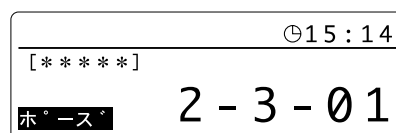
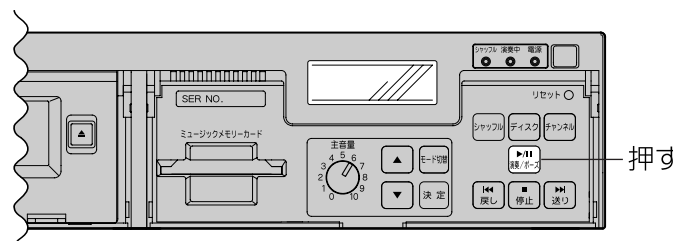
- 曲単位、ディスク単位での音量設定はできません。
- 主音量では、モニター音量は変化しません。モニター音量の調節方法は、「演奏中にモニター音量を調節する」(→26ページ)をお読みください。
- 主音量は、本機から出力される音量を調節します。

演奏を一時停止する

演奏中に  を押す

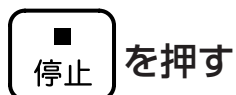
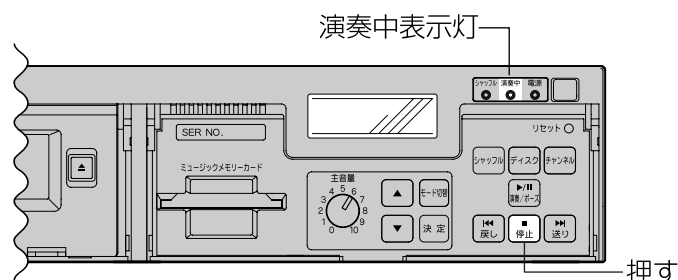
演奏が一時停止します。

一時停止中に再度  を押すと、一時停止したところから演奏を開始します。



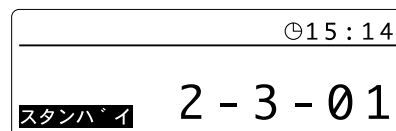
CD-BGMディスクを使用して演奏する＜基本操作＞

演奏を終了する

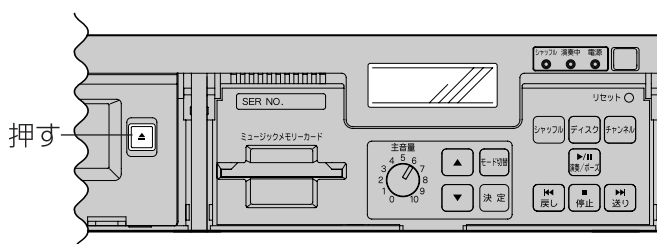


を押す

演奏が停止して、演奏中表示灯が消灯します。

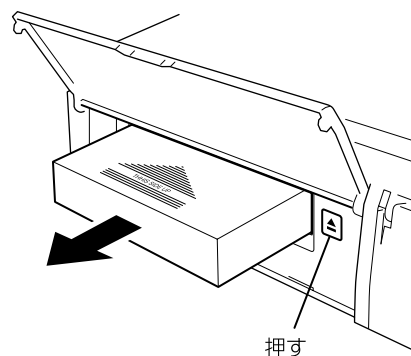


CDマガジンを取り出す

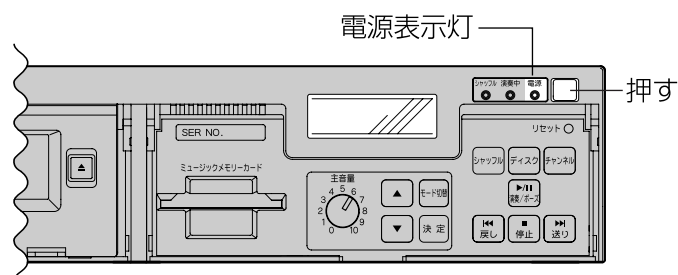


を押す

CDマガジンが自動的にCDマガジン挿入口から出てきます。
CDマガジンを抜き取ってください。



電源を切る



(電源スイッチ)



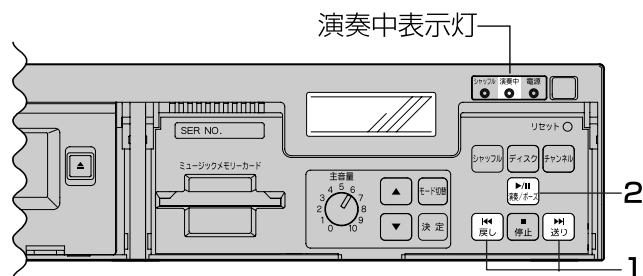
を2秒以上押す

電源が切れ、電源表示灯が消灯します。



曲目の選択のしかた

チャンネル内の曲目を選択するとき



- 1 **送り** または **戻る** を押して、
演奏したい曲の番号を選択する

送り : 番号が01→02→03…と切り替わります。

戻る : 番号が03→02→01…と切り替わります。

⌚15:14
スタンバイ 1 - 1 - 01



⌚15:14
スタンバイ 1 - 1 - 02

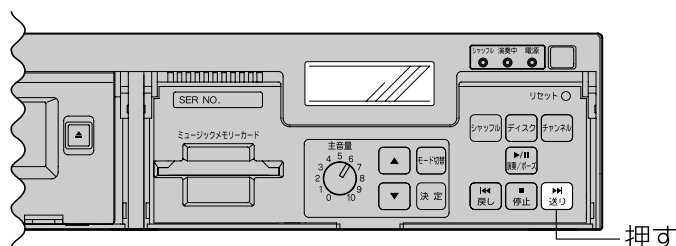
- 2 **▶/||** を押す

手順1で選択した曲の演奏が開始され、演奏中表示灯が点灯します。

⌚15:14
[*****]
プレイ 1 - 1 - 02

演奏中に曲目を変えるとき

- 演奏中の曲以降の曲を演奏する



- 送り** を押して、演奏したい曲の番号を
選択する

選択を終えると、選択した曲の演奏が開始します。

⌚15:14
[*****]
プレイ 1 - 1 - 01

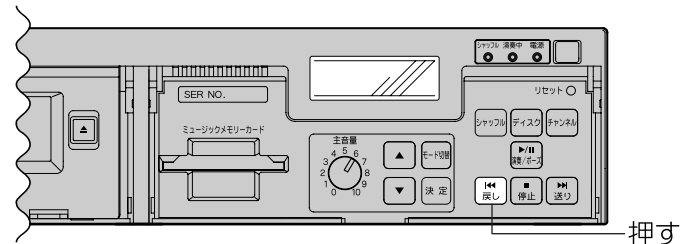


⌚15:14
[*****]
プレイ 1 - 1 - 02

●演奏中の曲以前の曲を演奏する

⏮ 戻し を押して、演奏したい曲の番号を選択する

選択を終えると、選択した曲の演奏が開始します。



⌚15:14
[*****]
フレイ 1 - 1 - 02



⌚15:14
[*****]
フレイ 1 - 1 - 01

●ほかのディスクの曲を演奏する

1 **ディスク** を押して、演奏したいディスクの番号を選択する

ディスク を押すごとに、切り替わるディスク番号が左上に表示されます。このとき、各ディスクの1チャンネルの1曲目が選択された状態になります。

この状態では、ディスクはまだ切り替わりません。

2 変更後のディスクで、チャンネルや曲目を変える場合は、前の操作から5秒以内に以下の操作を行う

※5秒以内に操作しないと、元の画面に戻ります。

チャンネル : チャンネル番号が1→2→3…と切り替わります。

送り : 曲の番号が01→02→03…の順で切り替わります。

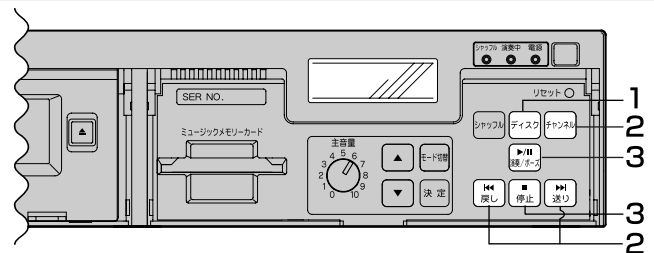
戻し : 曲の番号が03→02→01…の順で切り替わります。

3 **▶/|| 演奏/ポーズ** を押す

演奏中の曲がフェードアウトして、選択した曲の演奏を開始します。

●フェードアウトせずに選択した曲の演奏を開始したいときは、

■ 停止 を押してから **▶/|| 演奏/ポーズ** を押してください。



⌚15:14
[*****]
フレイ 1 - 2 - 07



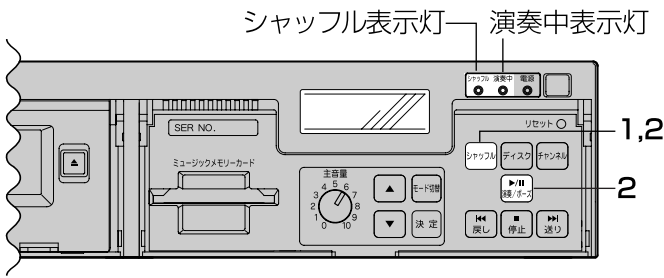
2-1-01 ⌚15:14
[*****]
フレイ 1 - 2 - 07

2-2-02 ⌚15:14
[*****]
フレイ 1 - 2 - 07

⌚15:14
[*****]
フレイ 2 - 2 - 02

シャッフル演奏する

シャッフル演奏とは、ディスク内の曲を順不同に演奏する方法です。ディスク内のすべての曲を演奏すると、次のディスクに移動して順不同に演奏します。



操作

1 シャッフルを押す

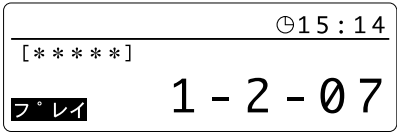
シャッフル演奏状態になり、シャッフル表示灯が点灯します。

- 再度 シャッフル を押すと、シャッフル演奏状態が解除され、シャッフル表示灯が消灯します。

2 ▶/⏸ 演奏/ポーズを押す

シャッフル演奏が開始され、演奏中表示灯が点灯します。

- 演奏中に シャッフル を押すと、シャッフル演奏が解除され、シャッフル表示灯が消灯します。このとき、演奏中の曲は引き続き演奏されます。



カード演奏（プログラム演奏）

カード演奏とは

CDマガジン内のディスクを、ミュージックメモリーカード（MMカード）の内容に従って演奏することです。BGM専門会社とご契約いただくと、ディスクの入ったCDマガジンとミュージックメモリーカード（MMカード）が、一組となってBGM専門会社から供給されます。

ミュージックメモリーカード（MMカード）には、本機に内蔵された時計に連動して、週間または年月日指定でディスクの演奏を行うように、ディスクの内容と連携したプログラム情報が書き込まれています。

カード演奏で可能なプログラムは、「週間プログラム（曜日指定で演奏のパターンを実行）」と、「年月日指定のプログラム（年月日指定で演奏のパターンを実行）」の2種類です。

また、カード演奏では、BGM放送やCM放送などのパターン演奏を行うこともできます。

カード使用時のお願い

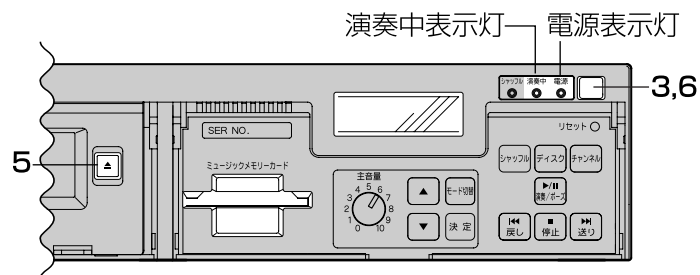
カード演奏時には、以下の点に注意してください。動作しなかったり、誤報の原因になります。

- ミュージックメモリーカード（MMカード）とCDマガジン内のディスクは組になっています。必ず、指定されたミュージックメモリーカード（MMカード）と、ディスクが入ったマガジンをご使用ください。
- カード演奏は、本機の内部時計に連動します。本機の内部時計を必ず合わせてご使用ください。
- ミュージックメモリーカード（MMカード）は、ミュージックメモリーカード挿入口の奥までしっかり差し込んでください。また、ミュージックメモリーカード（MMカード）に衝撃や静電気を与えないように注意してください。

カード演奏（プログラム演奏）

カード演奏のしかた

カード演奏は、本機の内部時計と連動して動作します。必要に応じて内部時計を合わせてください。内部時計の合わせかたは、「内部時計の時刻を合わせる」（→42ページ）をお読みください。

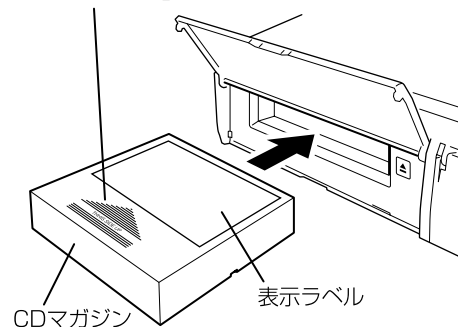


操作

1 ミュージックメモリーカード（MMカード）と組み合わせの合っているCDマガジンを挿入する

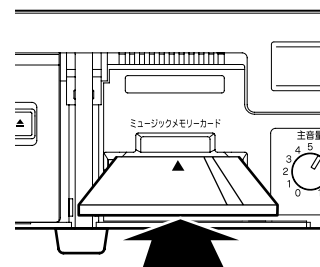
表示ラベルがはられ、「THIS SIDE UP」と書かれている面を上側にして、「カチッ」と音がするまで押し込みます。

「THIS SIDE UP」の面を上側にする



2 ミュージックメモリーカード（MMカード）を挿入する

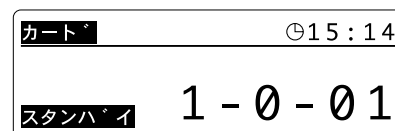
矢印（▲）のマークがある面を上側にして、矢印方向に挿入します。



（電源スイッチ）

3 を2秒以上押す

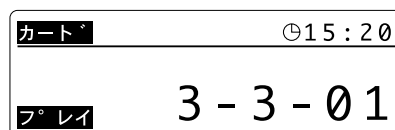
電源が入り、電源表示灯が点灯します。
CDマガジン内のディスクのチェックを開始します。
チェックには、1枚あたり約10秒程度かかります。
チェックが終わると表示画面に「カード」が表示され、
指定時刻までスタンバイ状態で待機します。



4 カード演奏の開始

カードにプログラムされた時刻になると、自動的にカード演奏が開始されます。

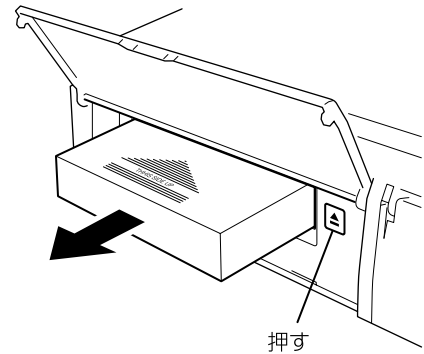
※カード演奏時は、手動で停止または一時停止を行うことはできません。



5 を押す

カード演奏を中止して、CDマガジンが自動的にCDマガジン挿入口から出てきます。

CDマガジンを抜き取ってください。

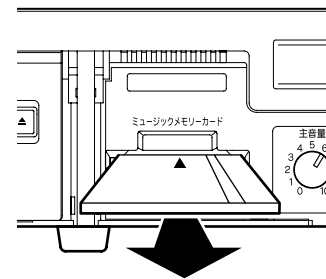


（電源スイッチ）

6 を2秒以上押す

電源が切れ、電源表示灯が消灯します。

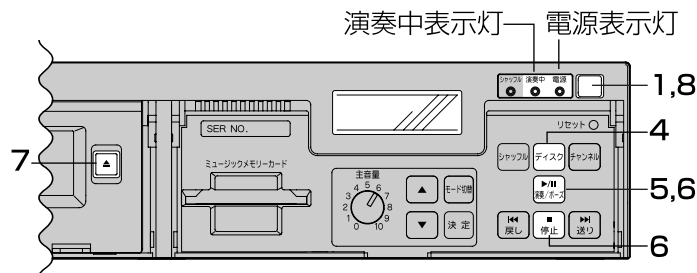
7 ミュージックメモリーカード（MMカード）を抜く



市販の音楽CDの演奏



- 別売のCDマガジン (WB-MC5A) が必要です。

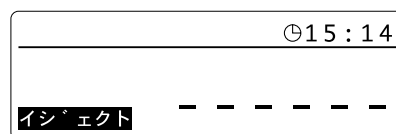


操作

(電源スイッチ)

1 を2秒以上押す

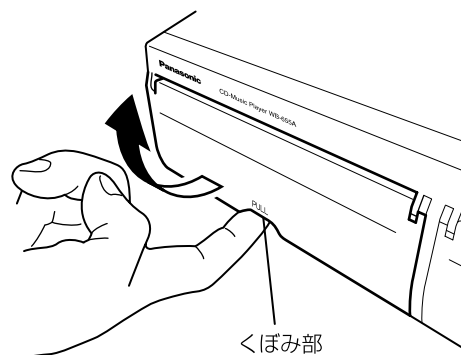
電源が入り、電源表示灯が点灯します。



2 CDマガジン挿入口カバーを開ける

カバー中央のくぼみ部に指をかけて、手前に引いて開けます。

カバーを開ききると、カバー位置は保持されます。

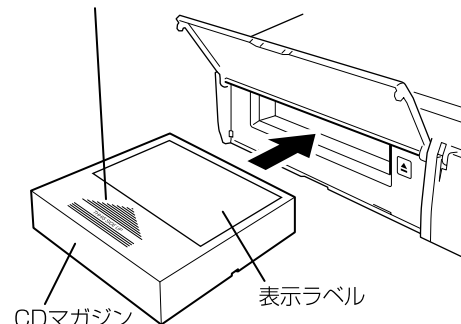


3 CDマガジンをCDマガジン挿入口に挿入する

表示ラベルがはられ、「THIS SIDE UP」と書かれている面を上側にして、「カチッ」と音がするまで押し込みます。挿入されると、CDマガジン内のディスクのチェックを開始します。チェックには、1枚あたり約10秒程度かかります。

- CDの収納のしかたは、CDマガジン (WB-MC5A) の取扱説明書をお読みください。

「THIS SIDE UP」の面を上側にする

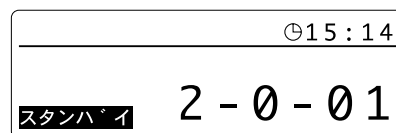
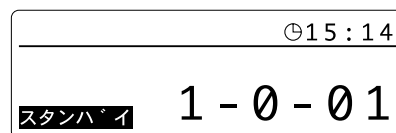


- CDを乗せるトレイは青色です (WB-MC5のトレイ (黒色) は使用できません)。

- オートスタートに設定されているときは、CDマガジンを挿入すると、ディスクのチェック完了後、自動的に1番目の曲から演奏を始めます。(→50ページ)

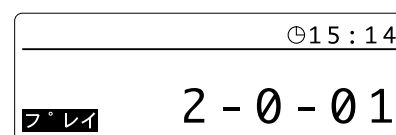
4 を押して、演奏したい曲目が入ったディスクを選択する

 を押すたびに、ディスク番号が1→2…5→1と切り替わります。
チャンネルはないので、番号は「0」で固定されます。



5 を押す

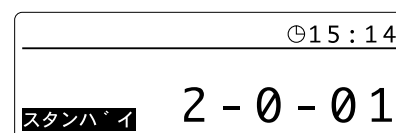
演奏が開始され、演奏中表示灯が点灯します。



6 を押す

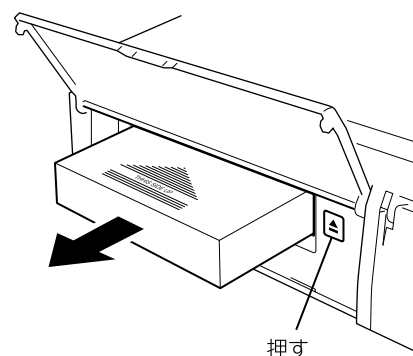
演奏が停止して、演奏中表示灯が消灯します。

- 演奏を中断するときは、 を押します。
再度  を押すと、中断したところから演奏を始めます。



7 を押す

CDマガジンが自動的にCDマガジン挿入口から出てきます。
CDマガジンを抜き取ってください。



(電源スイッチ)

8 を2秒以上押す

電源が切れ、電源表示灯が消灯します。



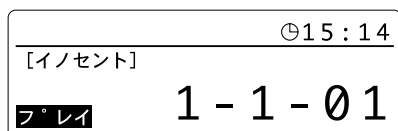
調節のしかた

表示画面形式を切り替える

●表示画面の種類

本機の表示画面は3種類あります。ご使用方法に合わせて、お好みの表示画面を選択してください。
下記は演奏中の表示画面例です。

操
作

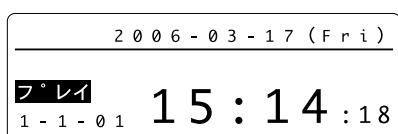


表示画面形式1（※お買い上げ時設定）：

選択しているディスク情報を強調した表示です。

ディスク番号、曲名、時刻を表示します。

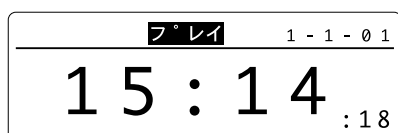
※曲名は、曲名情報のあるディスクの場合のみ表示されます。



表示画面形式2：

日付を表示し、時刻も大きく表示します。

日付、時刻、ディスク番号を表示します。



表示画面形式3：

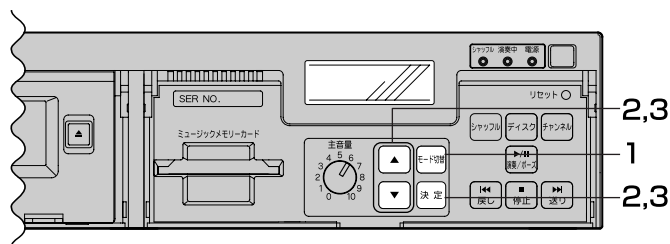
時刻を強調した表示です。

時刻、ディスク番号を表示します。

●表示画面形式の切り替えかた

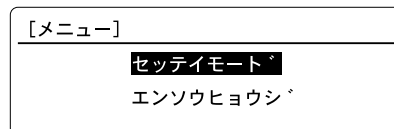
表示画面は、スタンバイ状態または演奏中に切り替えることができます。

下記の手順は、スタンバイ中に、表示画面を表示画面形式1から表示画面形式3に切り替える場合の例です。



1 **モード切替** を押す

メニュー画面が表示されます。

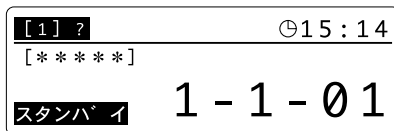
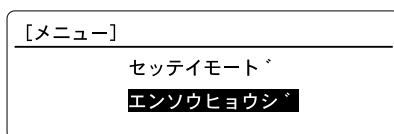


2 **▲** または **▼** で

「エンソウヒョウシ」を選択し、

決定 を押す

表示画面が表示され、表示画面形式の切り替えができる状態になります。



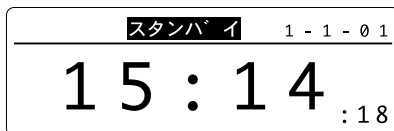
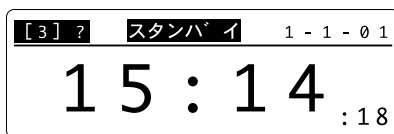
3 **▲** または **▼** で表示画面形式を

選択し、**決定** を押す

選択した表示画面形式に設定されます。

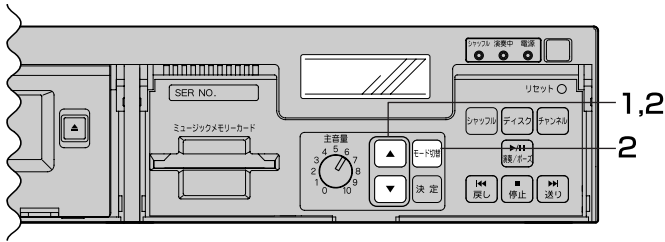
右記は、[3] を設定した例です。

設定されると、表示画面形式の番号は表示されません。



演奏中にモニター音量を調節する

本機のモニタースピーカーから演奏中の曲を聞くことができます。演奏中にモニター音量を調節する場合は、以下の操作で行ってください。



操作

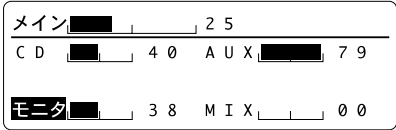
▲ または ▼ を押す

調節画面に切り替わり、モニター音量の調節が可能になります。

▲ : 音量が大きくなります。押し続けると変化が早くなります。

▼ : 音量が小さくなります。押し続けると変化が早くなります。

- **モード切替** を押すか、2秒以上操作しないと、演奏画面に戻ります。



- 設定モードのボリューム設定モードでも、モニター音量を調整することができます。調整方法は、「音量を調整する」(→41ページ)をお読みください。

設置上のご注意

警告

工事は必ず販売店に依頼してください。

工事を行う前に、接続する機器の電源スイッチを「切」にしてください。また、「安全上のご注意」をよく読んでその指示に従ってください。接続する機器の取扱説明書もあわせてお読みください。

●電源スイッチについて

電源スイッチを「切」にしただけでは、電源は遮断されません。電源を遮断するときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源コードは、必ず遮断装置を介して、次のいずれかの方法で接続してください。

- 電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）を介して接続する。
- 3.0 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。
ブレーカーは、保護アース導体を除くすべての極が遮断できるものを使用すること。
- 電源制御ユニット（WU-L62）などの電源を遮断できる装置のコンセントを介して接続する。

●アースの接続について

本機を設置する際は、必ずアース接続を行ってください。

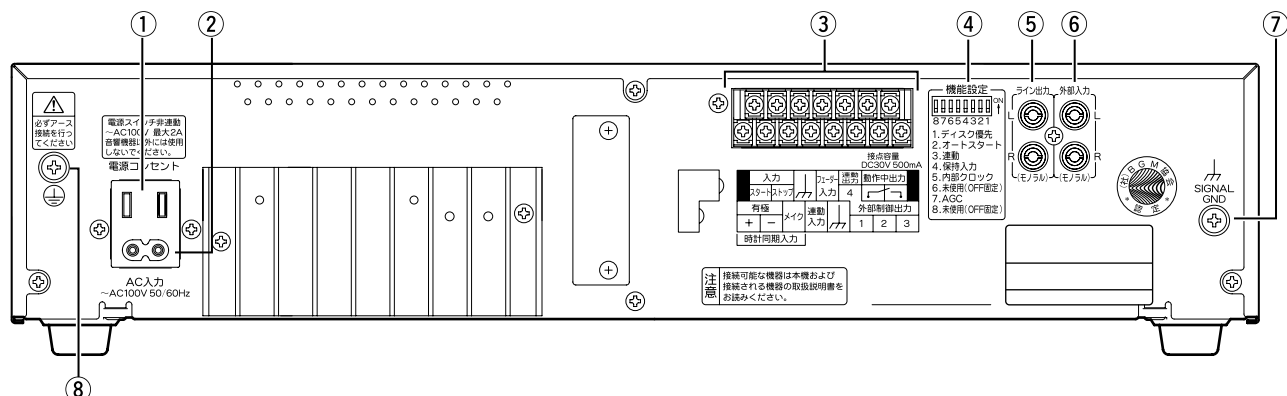
アース接続は、必ず主電源プラグを主電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず主電源プラグを主電源から切り離して行ってください。

- アース線の先端に丸端子を取り付けてください。
丸端子はJIS-C2805 RAV2-4、RBV2-4またはRAV5.5-4、RBV5.5-4に適合するものをご使用ください。
- アース接続は電気設備技術基準・内線規定などに基づいて、必ず電気工事士による工事を行ってください。

●静電気について

静電気による破損を防止するために、作業を始める前に金属部に手を触れ、人体に帯電している静電気を放電してください。

各部のなまえと働き (後面パネル)



① 電源コンセント

AC100 Vを出力します。最大2 Aまでです。

② 電源入力端子

付属の電源コードを接続します。

③ 入出力制御端子台

外部機器の制御信号などを接続します。(→30ページ～38ページ)

④ DIPスイッチ【機能設定】

オートスタートなど、運用に合わせた本機の設定をするためのスイッチです。(→50ページ)

⑤ ライン出力端子【ライン出力】

CD、外部入力からの信号を出力します。(→30、37ページ)

⑥ 外部入力端子【外部入力】

カセットデッキやラジオチューナーなど、外部演奏機器からの信号を入力します。(→34ページ)

⑦ 機能アース [SIGNAL GND]

システムを組んだほかの機器のアースを接続します。

⑧ 安全アース端子

アース線の接続を行います。

必ず接続してください。



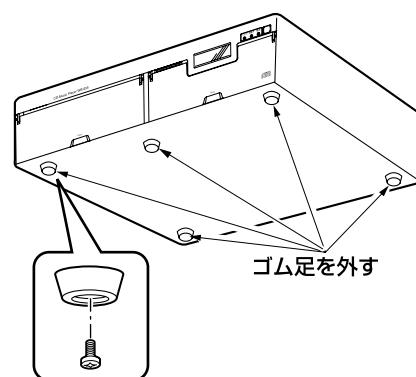
• 前面パネルについては、「各部のなまえと働き (前面パネル)」(→11ページ)をお読みください。

ラックへの取り付けかた

付属のラックアングル、ラック取付ねじを使って、ラックに取り付けます。

1 底面のゴム足を外す

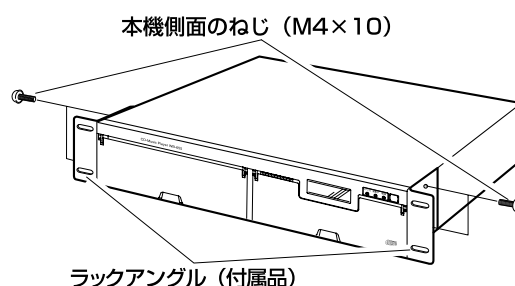
ドライバーで、ゴム足を固定しているねじを外してください。



2 本機側面のねじを外し、外したねじで付属ラックアングルを取り付ける

ラックアングルは、ねじ（4本）で確実に固定してください。

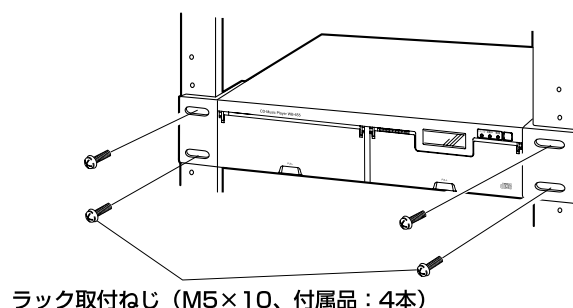
ねじの締付トルクは、 $98 \sim 117.6 \text{ N} \cdot \text{cm}$
{ $10 \sim 12 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } です。



3 本機をラックに取り付ける

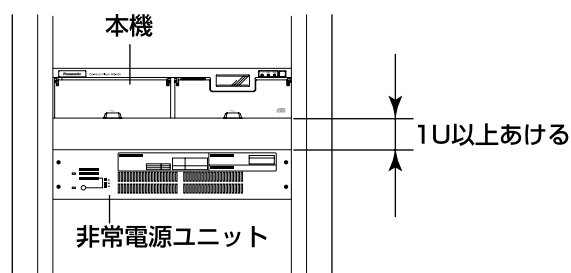
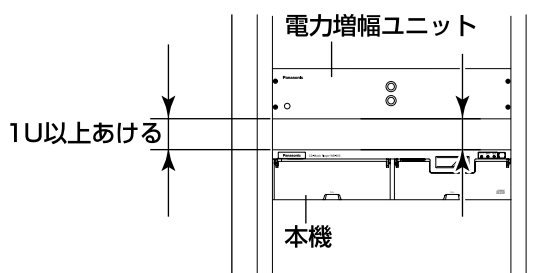
ラック取付ねじ（4本）で確実に固定してください。

ねじの締付トルクは、 $156.8 \sim 176.4 \text{ N} \cdot \text{cm}$
{ $16 \sim 18 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } です。



ラックに取り付けて使用する場合は、以下の内容をお守りください。

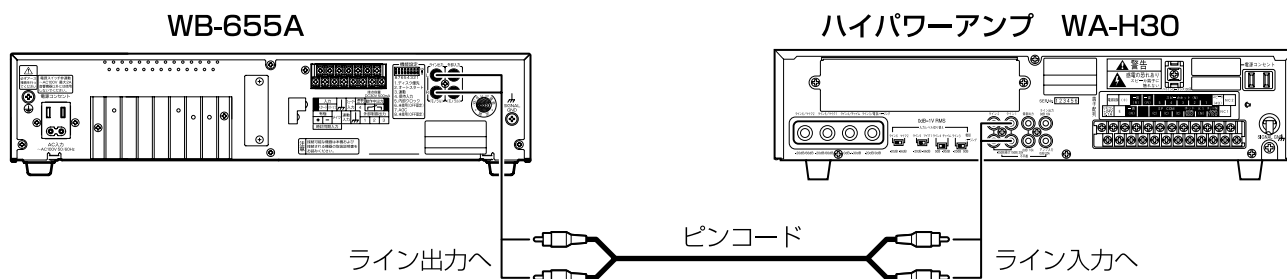
- 発熱する電力増幅ユニットの上部には設置しないでください。故障の原因になります。また下部に設置するときも、1U以上の間隔をあけてください。
- 非常用放送設備のラックに収納したときは、下部にある非常電源ユニットおよび電源制御ユニットとは1U以上の間隔をあけて設置してください。



接続のしかた

外部アンプの接続

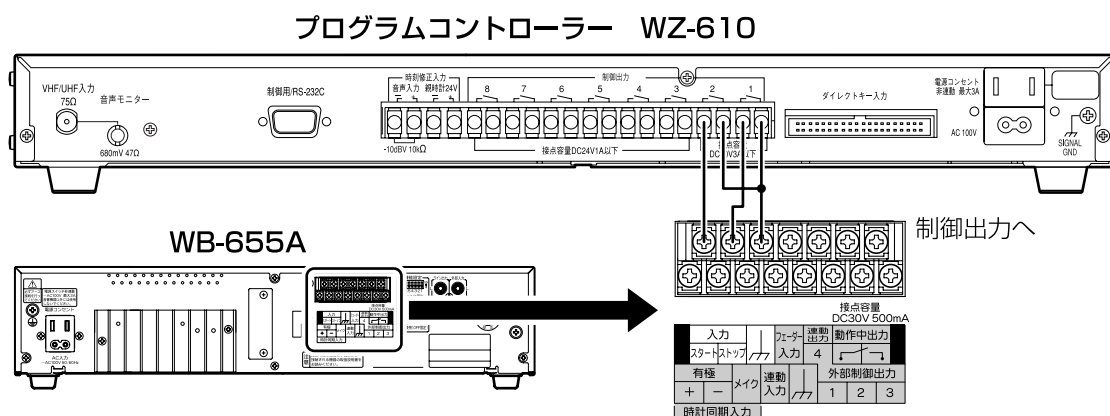
- 外部にアンプを接続して放送する場合は、本機のライン出力を外部アンプのライン入力などに接続します。
- 本図は、本機とハイパワーアンプ（WA-H30）の接続図です。本機のライン出力（L/R）をハイパワーアンプのライン入力1に接続する例を示しています。



- モノラル音源を使用する場合は、本機のライン出力端子のR出力端子を外部アンプへ接続します。

プログラムコントローラーの接続

- 外部のプログラムコントローラー（時刻タイマー）を利用し、時間管理により本機の演奏を行うことができます。この場合は、プログラムコントローラーの制御信号を、本機のスタート入力端子およびストップ入力端子へ接続します。
- 本機はスタート入力端子に信号が入力されると演奏を開始し、ストップ入力端子に信号が入力されると演奏を停止して次の曲で待機します。
- 本図は、プログラムコントローラー（WZ-610）の制御出力1、2を、本機のストップ入力端子とスタート入力端子へ接続する例を示しています。プログラムコントローラーを開始時刻に制御出力2をON制御し、停止時刻に制御出力1をON制御するように設定してください。



- 本機の制御端子には極性があるため、プログラムコントローラー側の制御出力がオープンコレクター出力の場合、極性を間違えないように接続してください。プログラムコントローラー（WZ-610）のようにリレー出力で、リレー回路が独立している場合には、極性は関係ありません。



- ミュージックメモリーカード（MMカード）を使ったカード演奏（→19ページ）の場合は、カードのプログラムにしたがって演奏の開始・停止が実行されます。
- プログラムコントローラーの制御出力信号は、本機のスタート入力端子およびストップ入力端子に0.5秒以上入力されるように設定してください。

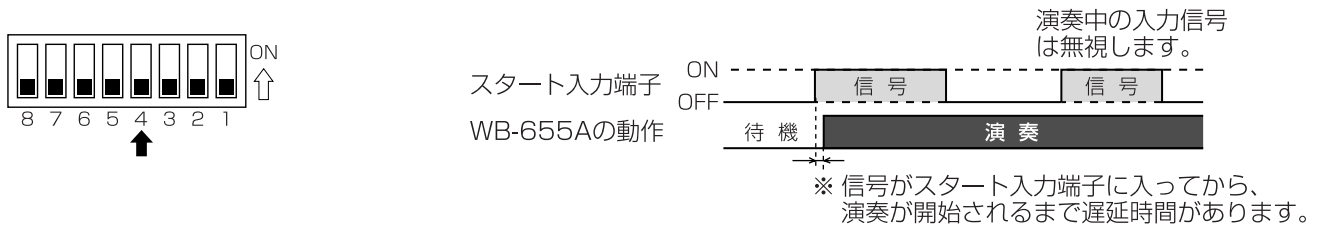
●スタート入力端子とストップ入力端子の動作について

- 本機のスタート入力端子は、DIPスイッチ4（保持入力）の設定により、パルス信号とメイク信号のどちらでも動作可能です（→50ページ）。
- 本機のスタート入力端子およびストップ入力端子に制御信号が入力された場合の動作イメージは、以下のとおりです。

スタート入力端子

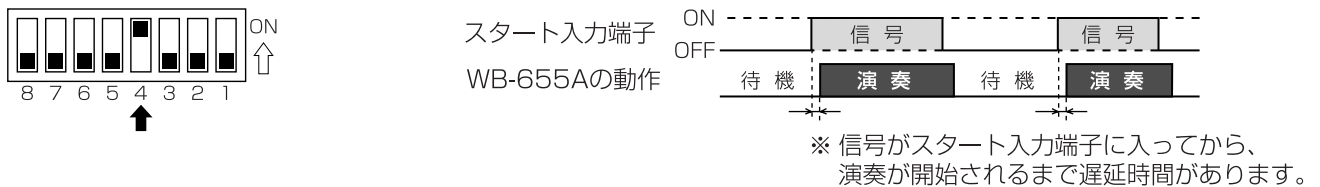
① DIPスイッチ4（保持入力）の設定が「OFF」の場合（パルス信号による動作）

スタート入力端子は、パルス信号で動作します。スタート入力端子にパルス信号が1回入力されると、停止操作が行われるかストップ信号が入力されるまで演奏を続けます。この間の新しいスタート信号は無視されます。



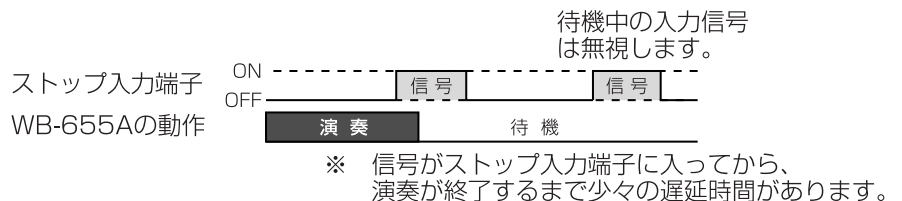
② DIPスイッチ4（保持入力）の設定が「ON」の場合（メイク信号による動作）

スタート入力端子は、メイク信号で動作します。スタート入力端子にメイク信号が入力されている間のみ、演奏を行います。信号が入力されなくなると、曲の途中でも演奏は停止します。また、スタート入力端子へのメイク信号入力中に、ストップ入力端子に信号が入力されると、ストップ入力が優先され停止します。



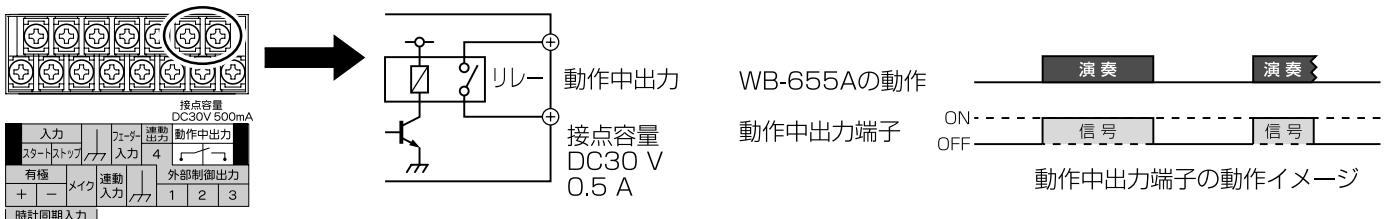
ストップ入力端子

ストップ入力端子にストップ信号が入力されると、演奏を停止して次の曲で待機します。



動作中出力端子の接続

- 動作中出力端子は、本機が演奏中のときに保持信号を出力する端子です。
- 本端子を使用して、本機が演奏中であることを外部へ示したり、周辺機器を制御したりすることができます。



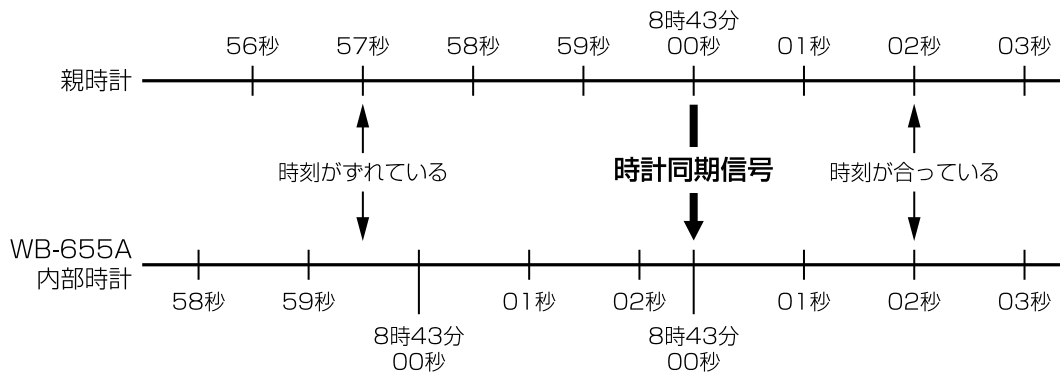
- 動作中出力は、本機が演奏中の場合に出力されます。外部アンプの起動に使用すると、アンプの立ち上がり時間が遅い場合などに、曲の頭切れが発生する可能性があります。事前にシステムとの確認を行ってください。

- カード演奏時には、動作中出力は演奏の5秒前に出力されます。

時計同期入力端子の接続

- 本機には時計が内蔵されており、ミュージックメモリーカード（MMカード）を使ったカード演奏（→19ページ）により、あらかじめプログラムされた内容に従い、時刻に合わせて曲を演奏させることができます。
- 内部時計は水晶発振回路により高い精度で動作しますが、長い年月の経過によりずれが発生します。本機の時計同期入力端子に外部時計からの時刻補正用の同期信号を入力することで、秒数を00秒に合わせることができます。
- 接続できる外部時計は、有極パルス式の子時計駆動出力を有する親時計と、無電圧メイク接点を出力する時計の2種類です。またプログラムコントローラーを使って、時計同期を行うこともできます。

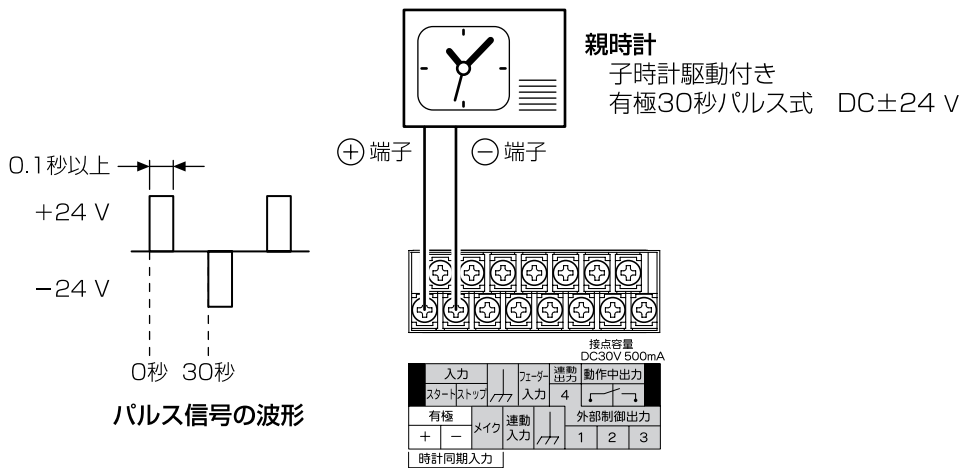
●時計同期入力端子に同期信号が入力された場合の動作イメージ



- 時計補正の範囲は、1秒～29秒では00秒に戻して補正し、30秒～59秒では+1分して00秒に補正します。

●有極パルス式の子時計駆動出力を使用して時計同期を行う場合 (有極30秒パルス式 DC ±24 V)

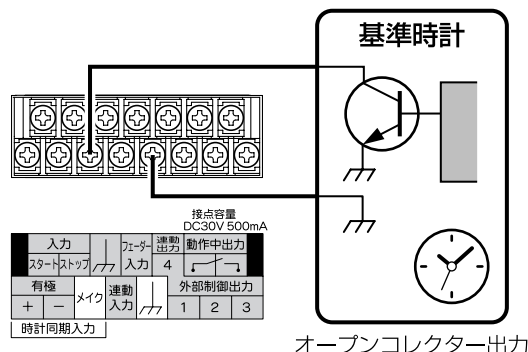
- 親時計の出力は、下図のように30秒間隔でDC ±24 Vを出力する親時計に対応しています。パルス幅は、0.1秒以上必要です。仕様を満たしていない場合は、誤動作します。
- 親時計の子時計駆動出力を、本機の時計同期入力の有極+／－端子へ接続します。
親時計の+端子出力を本機の時計同期入力の有極+端子へ、親時計の－端子出力を本機の有極－端子へ接続します。親時計、本機ともに極性があるので間違えないよう接続してください。



- 極性を間違えて接続した場合、時計補正が正しく行えませんので、正しく接続してください。

●オープンコレクター出力または無電圧メイク接点を出力する基準時計を使用して時計同期を行う場合

- 本機の時計同期入力、無電圧メイク接点、オープンコレクター出力に対応しています。
- 基準時計の時計同期用信号を、本機の時計同期入力のメイク端子へ接続します。



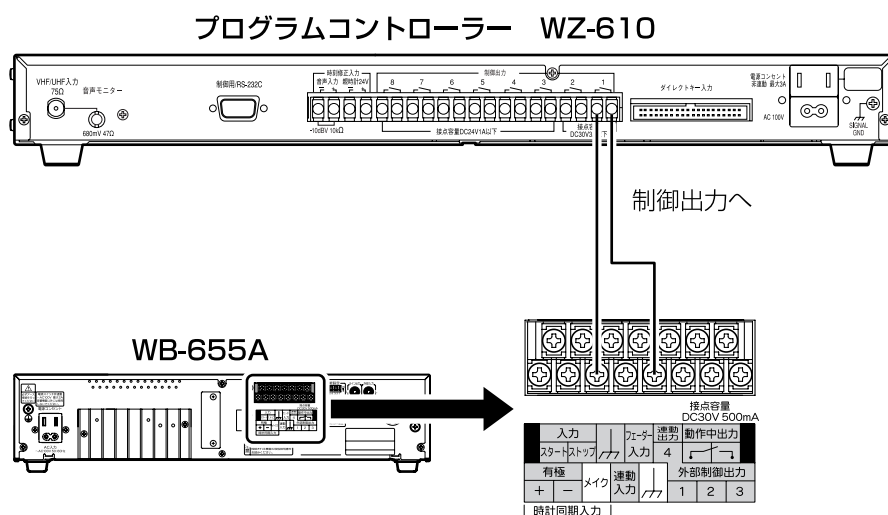
- メイク端子には絶対に電圧や電流を加えないでください。故障にいたる可能性があります。



- 本機は、無電圧メイク信号に対応しています。スイッチやリレー接点の場合、極性はありませんが、トランジスターのオープンコレクター出力タイプのタイマーやコントローラーを使う場合は、極性がありますので、上図のように間違えないよう接続してください。

●プログラムコントローラー（WZ-610）を使用して時計同期を行う場合

- プログラムコントローラーの制御出力を使用して、時計同期を行うことができます。
- プログラムコントローラーの制御出力（無電圧メイク、リレー接点の場合）を、本機の時計同期入力のメイク端子およびグラウンド端子（ $\perp$ ）へ接続します。
- 本図はプログラムコントローラー（WZ-610）を使用した例を示しています。プログラムコントローラー（WZ-610）の制御出力端子1を、補正したい時刻（秒数のみ00秒へ補正）にメイク出力するように設定しておきます。



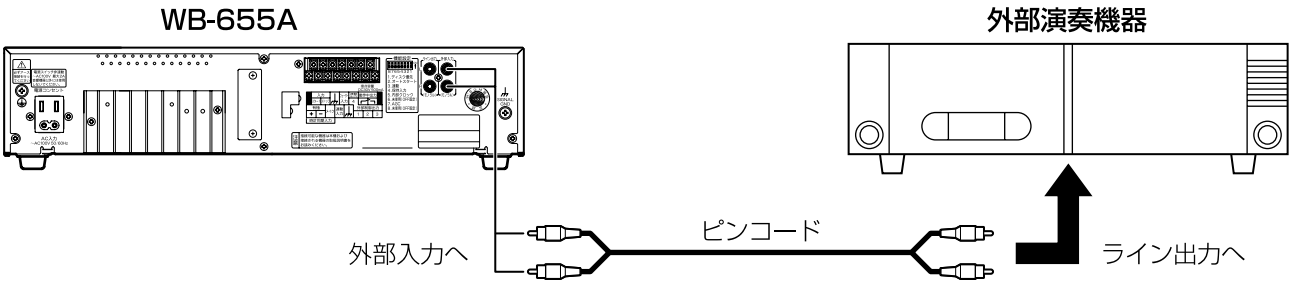
- 制御出力がトランジスターのオープンコレクター出力タイプの場合、メイク端子とグラウンド端子（ $\perp$ ）の接続を間違えると正しく動作しません。本ページの「オープンコレクター出力または無電圧メイク接点を出力する基準時計を使用して時計同期を行う場合」を参考に正しく接続してください。

- 時計補正の範囲は、1秒～29秒では00秒に戻して補正し、30秒～59秒では+1分して00秒に補正します。

応用システムの接続のしかた

●外部演奏機器の接続

- 外部演奏機器からの音声を本機の外部入力端子へ入力し、本機で再生するCD音声と外部演奏機器からの音声をミキシングすることができます。また、設定により本機のCD音声または外部演奏機器の音声を優先して出力することもできます。
- CD音声を優先して外部演奏機器の音声をミキシングするか、外部演奏機器の音声を優先してCD音声をミキシングするかを、DIPスイッチ1（ディスク優先）で設定します（→50ページ）。
- 非優先側の音声については、ミキシング音量の調整（→49ページ）により、ミキシングの際の音量を小さくしたり、音声をカットすることができます。
- 本機能により、例えば本機をBGM再生用、外部演奏機器をCM音声再生用とした場合に、CM再生時にBGM音声を小さくしたり、カットしたりして再生することが可能になります。
- 本図は、カセットデッキやラジオチューナーなどの音声を本機に入力する場合の接続です。



優先動作のイメージ

DIPスイッチ1（ディスク優先）の設定と、ミキシング音量の設定の組み合わせにより、本機は下表のとおり動作します。

条件		ライン出力音量	
DIPスイッチ	ミキシング音量	本機のCD音声	外部入力音声
OFF* ¹ (外部優先)	0	カット	そのまま出力
	1～79* ²	設定音量に絞って出力	そのまま出力
ON* ¹ (ディスク優先)	0	そのまま出力	カット
	1～79* ²	そのまま出力	設定音量に絞って出力

※1：手動演奏時はDIPスイッチ1（ディスク優先）の状態、カード演奏時はカードのプログラム内容に従って、外部入力音声または本機のCD音声のどちらを優先するか決定されます。

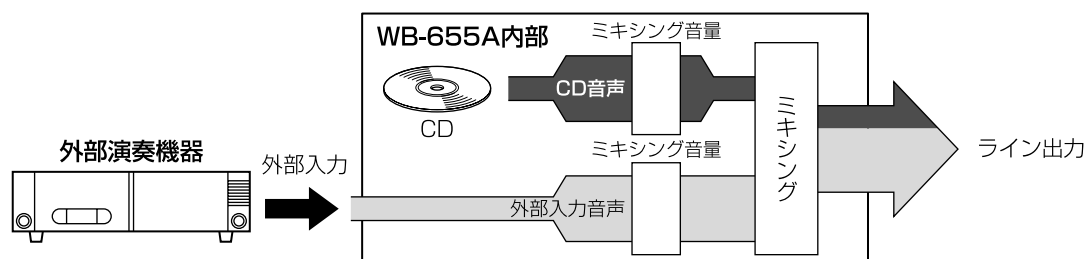
※2：ミキシング音量の値が最大音量の「79」のとき、音量は下がりません。

お買い上げ時は、DIPスイッチ1が「OFF」、ミキシング音量が「0」（外部音声が入力されるとCD音声はカットされる状態）に設定されています。

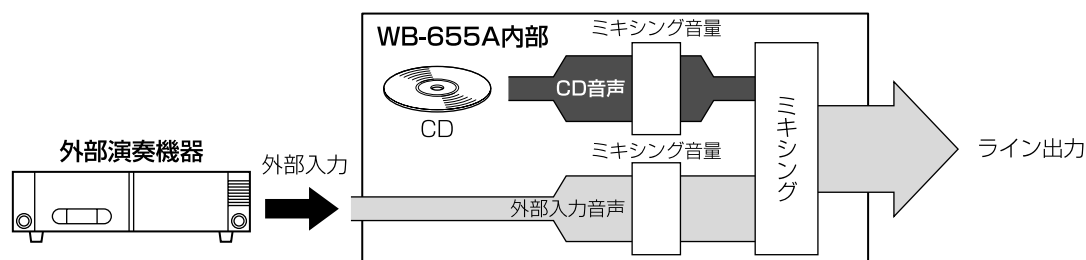
① DIPスイッチ1（ディスク優先）の設定が「OFF」の場合（外部入力音声を優先）

外部入力へ音声が入力されると、CD音声はミキシング音量が有効になり、ミキシング音量に従ったレベルでミキシングされて出力されます（ミキシング音量が「79」の場合はCD音声は最大音量になり、「0」の場合はカットされます）。

1) ミキシング音量「1」～「79」の場合



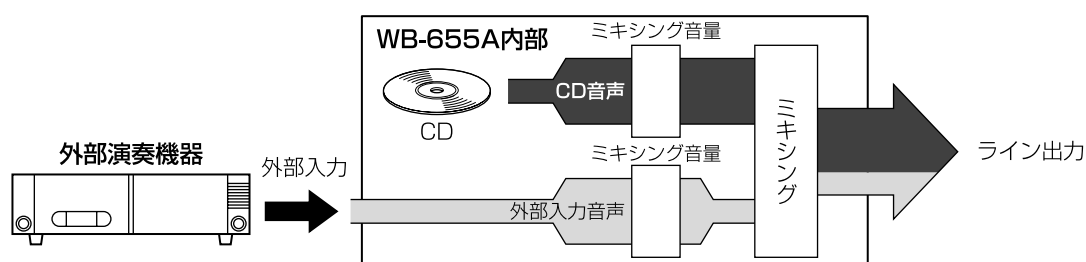
2) ミキシング音量「0」の場合



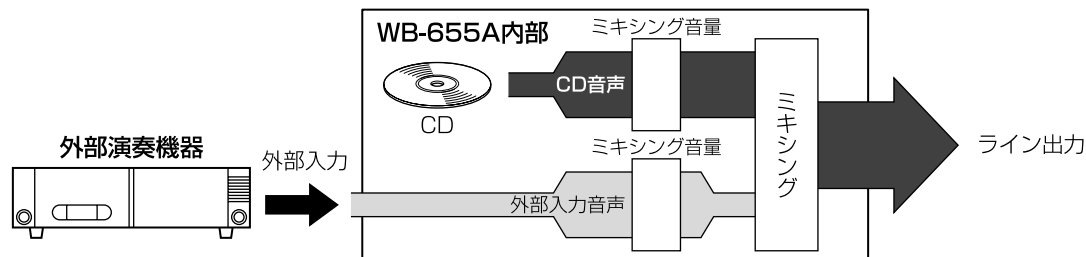
② DIPスイッチ1（ディスク優先）の設定が「ON」の場合（本機のCD音声を優先）

CDが再生状態になると、外部入力音声はミキシング音量が有効になり、ミキシング音量に従ったレベルでミキシングされて出力されます（ミキシング音量が「79」の場合は外部入力音声は最大音量になり、「0」の場合はカットされます）。

1) ミキシング音量「1」～「79」の場合



2) ミキシング音量「0」の場合



● 外部入力端子のスルー機能について

本機は、電源スイッチが「切」の状態であっても、外部入力音声を本機をスルーさせてライン出力から出力させることができます。このため本機を使用しない場合でも、配線を変更することなく業務放送を続けることができます。このとき外部入力音声の音量は、電源スイッチが「入」のときの設定を反映します。ただし電源プラグを抜いてしまうと、スルー機能は働きませんのでご注意ください。

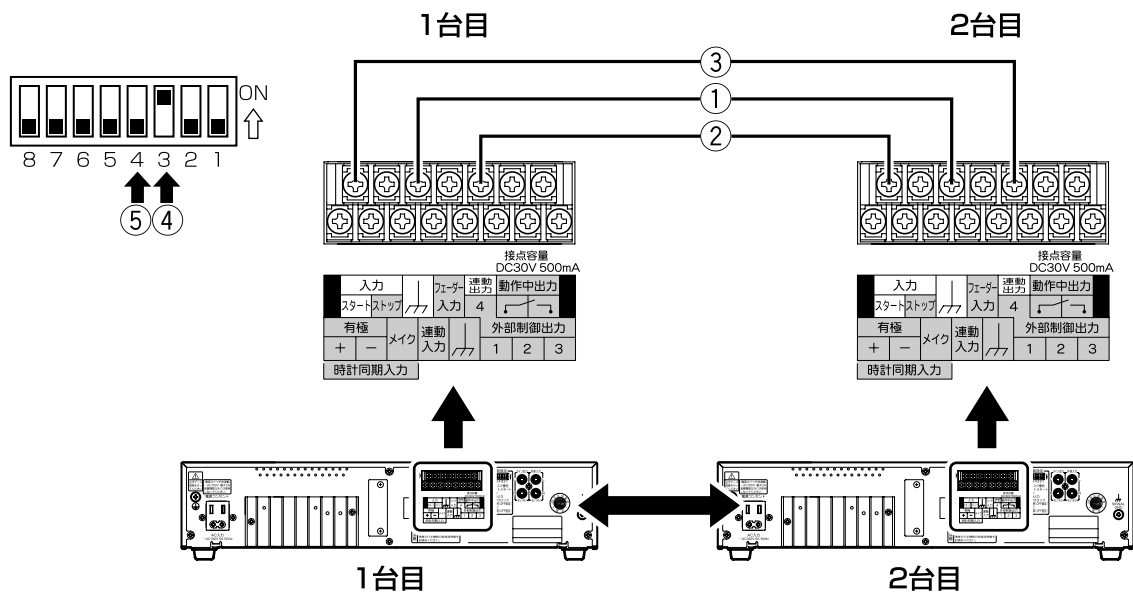
接続のしかた

●本機を複数台使用するときの接続（連続演奏）

- 本機を2台、3台、4台…と接続することで、長時間の連続演奏を行うことができます。
まず1台目の連動出力端子を2台目のスタート入力端子へ接続し、以降は使用する台数分を同様に接続していきます。連動動作を行う台数には制限はありません。最後尾の連動出力端子は、1台目のスタート入力端子へ接続してください。
- 接続するすべての本機で、DIPスイッチ3（連動）を「ON」に設定することにより、本機能は有効になります。
- 本図は、本機2台を使って連続演奏を行う場合の接続です。

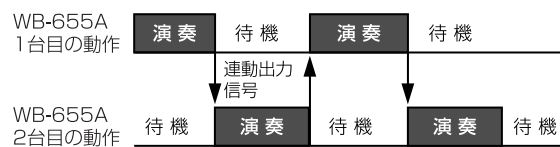
接続手順（本機2台を使って連続演奏を行う場合の接続）

- ①それぞれのグランド端子（) 同士を接続します。
 - ②1台目の連動出力端子を2台目のスタート入力端子に接続します。
 - ③2台目の連動出力端子を1台目のスタート入力端子に接続します。
 - ④DIPスイッチ3（連動）を2台とも「ON」にします。
 - ⑤DIPスイッチ4（保持入力）を2台とも「OFF」にします。
- ※下図は2台接続する例ですが、2台以上接続する場合も同様に接続を行います。



重要 ●カード演奏時には、連続出力端子は外部制御出力4として動作するため、連続演奏動作を行うことはできません。

メモ ●2台接続した場合の動作イメージ



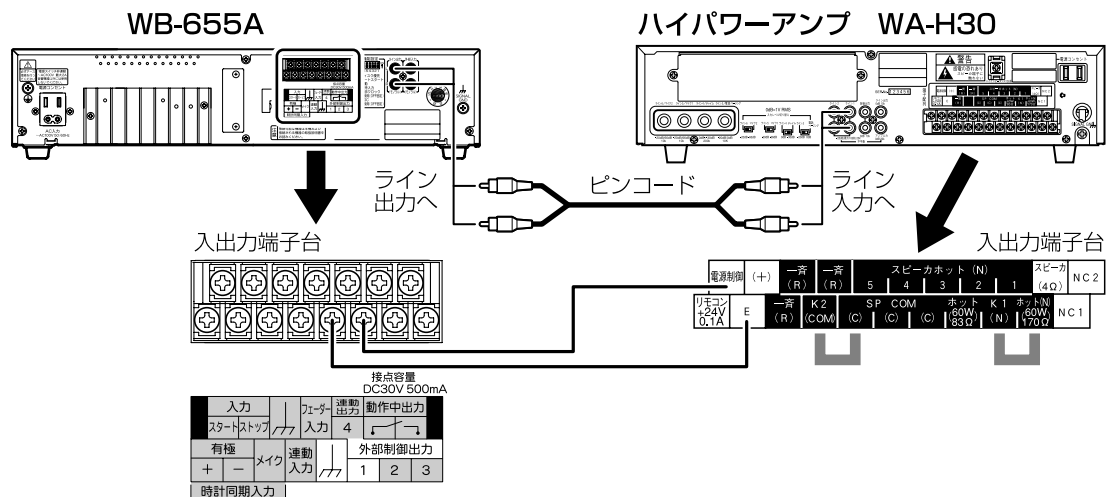
●エラー発生時の動作

スタート入力端子に制御信号が入力された時点で、本機が以下のような状態の場合は、エラーとなり、次に接続している本機に対して連動出力は出力されず、次の演奏は開始されません。

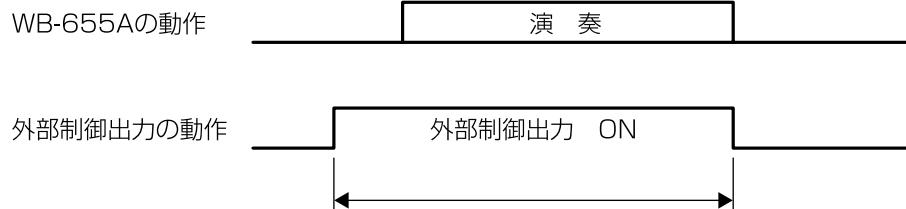
- CDマガジンが未挿入
 - CDマガジンが挿入されているがディスクが入っていない
 - CDマガジンが挿入されているが再生可能なディスクが入っていない
- ※ただし、1枚でも再生可能なディスクが存在する場合は、連動出力は出力されます。

●外部アンプを制御する場合の接続（カード演奏時のみ有効）

- ミュージックメモリーカード（MMカード）を使ったカード演奏（→19ページ）時に、本機の外部制御出力を使用して、外部アンプを制御することができます。ミュージックメモリーカード（MMカード）には、あらかじめ演奏プログラムを設定しておく必要があります。
- 本図は、ミュージックメモリーカード（MMカード）を使った演奏で、かつ演奏開始と連動して外部制御出力1端子から信号出力されるようプログラムした場合の例です。



動作イメージ



※動作タイミングは、カードのプログラムによって変わります。

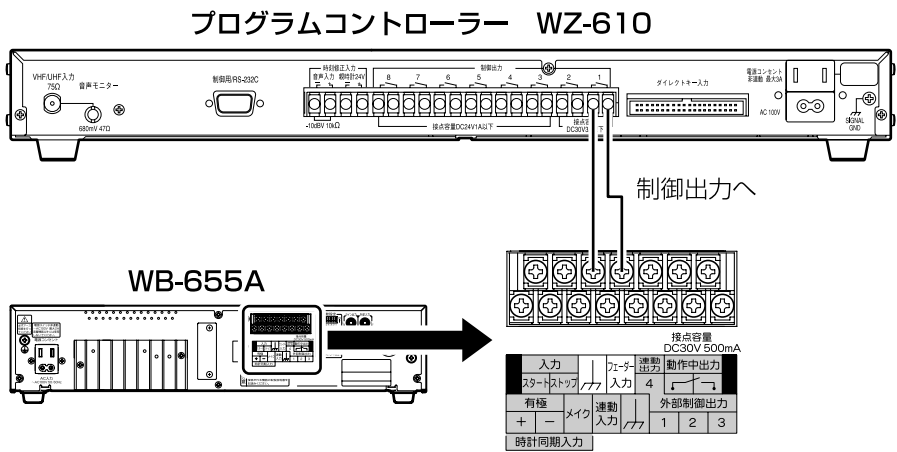
上図は、外部制御出力を演奏前の時刻から出力するようにプログラムした例です。



- 本機の外部制御出力1～4*は、ミュージックメモリーカード（MMカード）のプログラムにしたがって、それぞれ独立に動作します。
※カード演奏時、連動出力端子が外部制御出力4として動作します。

●フェーダー入力端子の接続

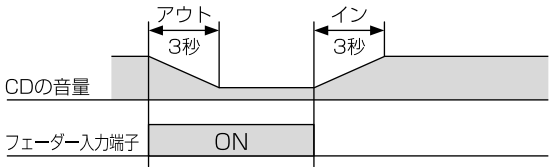
- フェーダー入力端子に制御信号を入力することで、本機でのCD音声および外部入力音声に、フェーダー動作を行うことができます。
- フェーダー動作は、あらかじめ本機に設定されている時間（→45ページ）に従って、「フェードイン」「フェードアウト」の動作を行います。
- 本機でのCD音声または外部入力音声のどちらにフェーダー動作を行うかは、手動演奏の場合はDIPスイッチ 1（ディスク優先）の設定により決まります。
DIPスイッチ1が「OFF」の場合、外部入力音声優先され、CD音声にフェーダー動作が行われます。
（カード演奏の場合はカードのプログラムによって決まります）
- フェーダー動作を行う場合は、プログラムコントローラーなどの制御出力を、本機のフェーダー入力端子へ接続します。
- 本図は、プログラムコントローラー（WZ-610）を使用して、決まった時刻に本機のCD音声にフェーダー動作を行う例を示しています。



フェーダー動作について

設定例) フェードイン3秒、フェードアウト3秒、DIPスイッチ1の設定が「OFF」（外部入力音声優先）

フェーダー入力ショート時のフェーダー動作



- 外部演奏機器を接続したシステムにおいて、本機へ外部入力音声が入力されていないときは、CD音声のみにフェーダー動作を行うことができます。このとき、フェードアウト動作後のCD音声の音量は、ミキシング音量によって決まります。
本機に外部入力音声が入力されている場合は、DIPスイッチ1の「OFF」設定に従って、外部入力音声優先されます。このとき、CD音声の音量は、ミキシング音量によって決まります。

設定のしかた

各種機能について

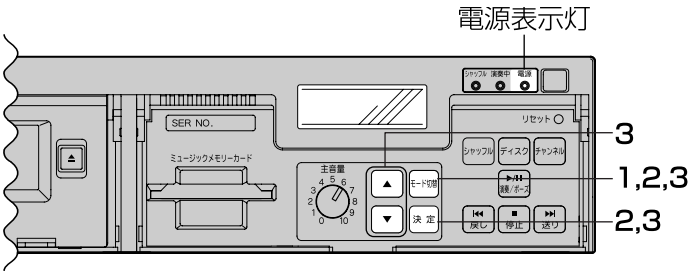
本機は、ご使用の状況に合わせて、いろいろな機能設定を行うことができます。設定は、設定モード画面から各種モード画面を選択して行います。

設定できる各種機能は以下のとおりです。

設定モード画面	設定画面	
[セッテイモード[*]] (7)メイン ホ[*]リ्यूーム ◀▶(1)ホ[*]リ्यूーム (2)トケイセット ▼ ↓ ↑ ▲	決定 メイン 25 C D 40 A U X 79 モニター 00 MIX 00 モニター切替	ボリューム設定モード 音量を調整します。 (→41ページ)
[セッテイモード[*]] (1)ホ[*]リ्यूーム ◀▶(2)トケイセット (3)0ヒ[*]ョウリセット ▼ ↓ ↑ ▲	決定 2006-03-17 00:01:32 2006-03-17 (Fri) 15:00:00 モニター切替	時計セットモード 内部時計の時刻を調整します。 (→42ページ)
[セッテイモード[*]] (2)トケイセット ◀▶(3)0ヒ[*]ョウリセット (4)レベ[*]ル ▼ ↓ ↑ ▲	決定 [0ヒ[*]ョウリセット] 2006-03-17 (Fri) 15:00:15 モニター切替	0秒リセットモード 内部時計を0秒にリセットします。 (→43ページ)
[セッテイモード[*]] (3)0ヒ[*]ョウリセット ◀▶(4)レベ[*]ル (5)フェータ[*] ▼ ↓ ↑ ▲	決定 [レベ[*]ル] フレイ 1-1-01 A B C D E [+6] [+3] [0] [-3] [-6] モニター切替	レベル調整モード カード演奏時の音量レベルを調整します。 (→44ページ)
[セッテイモード[*]] (4)レベ[*]ル ◀▶(5)フェータ[*] (6)1シ[*]カンチョウセイ ▼ ↓ ↑ ▲	決定 [フェータ[*]] カート[*] アウト ウェイト イン [3] [3] [4] [3] モニター切替	フェーダー設定モード フェードイン、フェードアウト、ウェイト時間を調整します。 (→45ページ)
[セッテイモード[*]] (5)フェータ[*] ◀▶(6)1シ[*]カンチョウセイ (7)メインホ[*]リ्यूーム ▼ ↓ ↑ ▲	決定 [1シ[*]カンチョウセイ] 2006-03-17 (Fri) 0 15:00:18 モニター切替	1時間調整モード 内部時計を1時間単位で進めたり遅らせたりします。 (→47ページ)
[セッテイモード[*]] (6)1シ[*]カンチョウセイ ◀▶(7)メインホ[*]リ्यूーム (1)ホ[*]リ्यूーム ▼ ↓ ↑ ▲	決定 [メインホ[*]リ्यूーム] C D ONLY C D & A U X モニター切替	メインボリューム切り替えモード 主音量つまみで調整する機能を選択します。 (→48ページ)

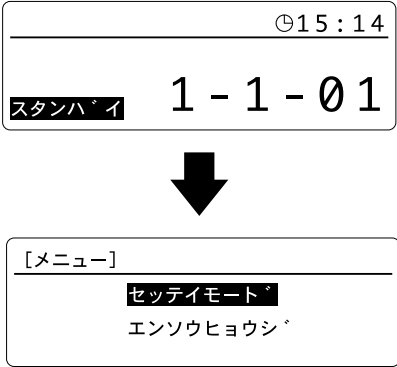
設定画面を表示する

各種設定は、設定モード画面から各種設定画面を選択して行います。
設定画面の表示方法は、以下のとおりです。



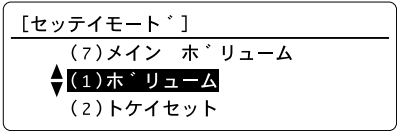
1 スタンバイ状態で **モード切替** を押す

メニュー画面が表示されます。
●もう1度 **モード切替** を押すと、スタンバイ状態に戻ります。



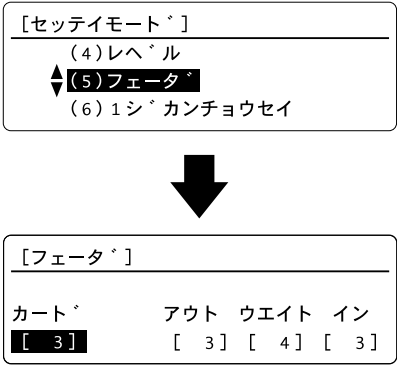
2 **決定** を押す

設定モード画面が表示されます。
● **モード切替** を押すと、メニュー画面に戻ります。



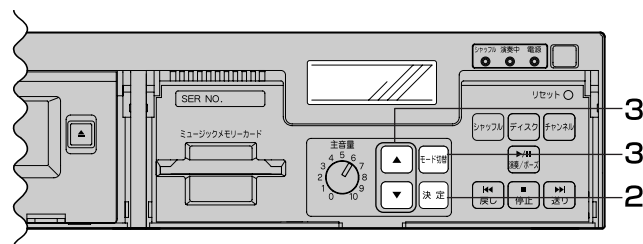
3 **▲** または **▼** を押して設定したい項目を選択し、**決定** を押す

右記は、フェーダー設定モードを選択した場合の例です。
各種設定画面を表示したあとの操作は、各設定の説明をお読みください。
● **モード切替** を押すと、設定モード画面に戻ります。



音量を調整する

CD音量（CD）、外部入力音量（AUX）、ミキシング音量（MIX）、モニタースピーカー音量（モニタ）を調整します。



1 ボリューム設定モード画面を表示する

表示方法は、「設定画面を表示する」（→40ページ）をお読みください。

「CD」が反転表示になります。



2 決定を押して、音量を調整したい機器を選択する

決定を押すごとに、反転表示が切り替わります。

右記は、外部入力音量（AUX）を選択した例です。



3 ▲または▼を押して、音量を調整する

音量は「0」から「79」の範囲で調整できます。

「0」の場合、音声は出力されません。

▲：音量が大きくなります。押し続けると変化が早くなります。

▼：音量が小さくなります。押し続けると変化が早くなります。

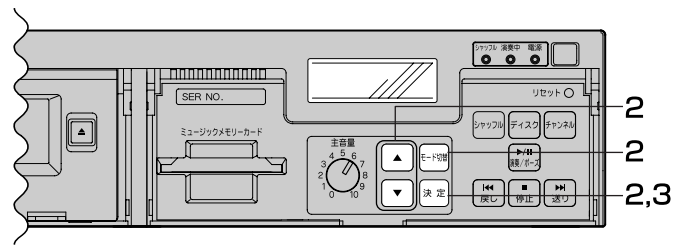
- ほかの機器の音量を調整する場合は、手順2、3をくり返します。
- すべての調整が終わったあとにモード切替を3回押すと、スタンバイ画面に戻ります。



内部時計の時刻を合わせる

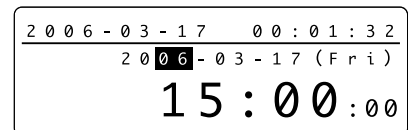
内部時計の時刻を調整します。カード演奏するときは、必ずこの操作を行ってください。ミュージックメモリーカード（MMカード）のプログラムは、内部時計を基準に演奏します。

下記の手順は、「2007年2月21日（火） 16時20分」に設定する場合の例です。



1 時計セットモード画面を表示する

表示方法は、「設定画面を表示する」（→40ページ）をお読みください。
西暦の下2けたが反転表示になります。

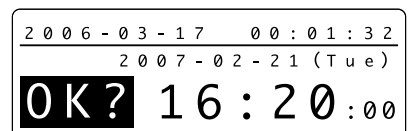
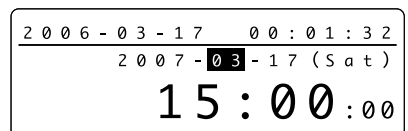
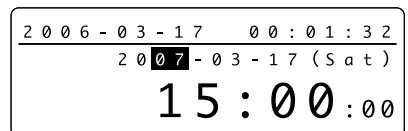


2 ▲ または ▼ を押して数値を選択し、決定を押す

「年」が設定され、「月」の数値が反転表示になります。この手順を繰り返して、「月」・「時」・「分」を設定してください。

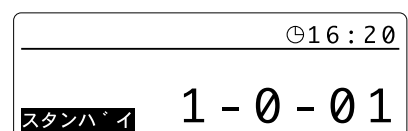
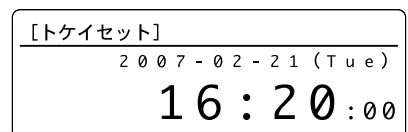
- 設定途中で間違いに気付いたときは、**モード切替**を押してください。押すごとに、ひとつ前の設定画面に戻ります。
- 画面上に「トリケシ？」と表示されたときに **決定** を押すと、設定モード画面に戻ります。

「分」の設定まで完了すると、画面上に「OK？」が表示されます。
入力時間が正しいか、電話やテレビの時報などで確認してください。



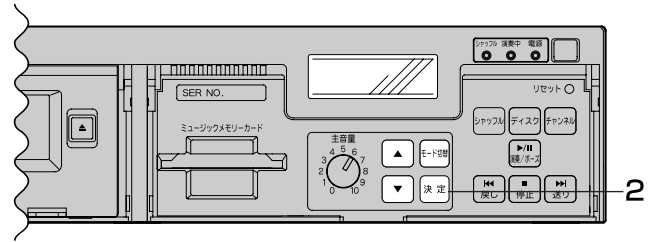
3 決定を押す

内部時計が動き出し、スタンバイ画面に戻ります。



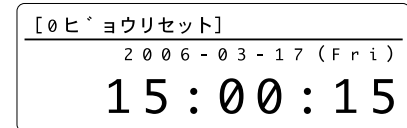
内部時計を0秒にリセットする

内部時計がずれているとき、誤差が±30秒以内であれば、この操作で修正することができます。



1 0秒リセットモード画面を表示する

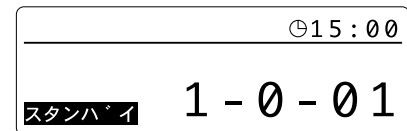
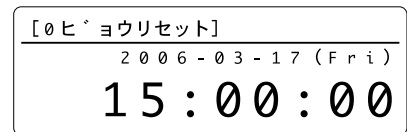
表示方法は、「設定画面を表示する」(→40ページ)をお読みください。



2 電話やテレビの時報などに合わせて、

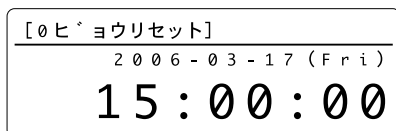
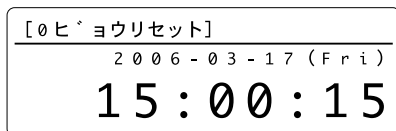
決定を押す

秒が「00」になり、内部時計が動き出したあと、スタンバイ画面に戻ります。



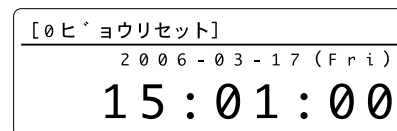
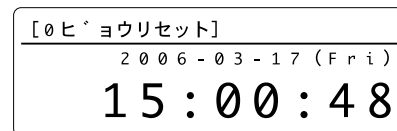
●手順2で **決定** を押したときの秒数により、分表示は以下のようになります。

・ 0秒～29秒の間に押した場合



現在の分数の00秒に戻ります。

・ 30秒～59秒の間に押した場合

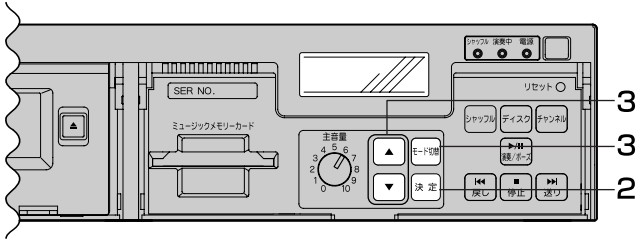


次の分数の00秒になります。

カード演奏時の音量レベルを調整する

カード演奏時は、カードプログラムの中にA～Eの音量パターンを設定しておくことで、状況に合わせた音量で放送することができます。例えば、メッセージ放送は大きな音量で、BGMは時間帯に合った音量で放送することができます。

音量レベルは「+9」～「-9」の間で調整できます。ここでは、A～Eの各パターンの音量を調整します。実際に放送されるA～Eの音量を現場で聞きながら調整してください。



1 レベル調整モード画面を表示する

表示方法は、「設定画面を表示する」(→40ページ)をお読みください。

Aの数値が反転表示になります。

[レベ ^ル]		フ ^レ イ	1 - 1 - 0 1	
A	B	C	D	E
[+ 6]	[+ 3]	[0]	[- 3]	[- 6]

2 決定を押して、設定したい項目を選択する

決定を押すごとに、反転表示が切り替わります。

右記は、Bを選択した例です。

[レベ ^ル]		フ ^レ イ	1 - 1 - 0 1	
A	B	C	D	E
[+ 6]	[+ 3]	[0]	[- 3]	[- 6]

3 ▲または▼を押して、音量を調整する

- ▲ : 音量が大きくなります。
- ▼ : 音量が小さくなります。

- 手順2、3をくり返して、ほかのパターンの音量を調整してください。
- すべての調整が終わったあとにモード切替を3回押すと、スタンバイ画面に戻ります。

[レベ ^ル]		フ ^レ イ	1 - 1 - 0 1	
A	B	C	D	E
[+ 6]	[+ 7]	[0]	[- 3]	[- 6]

フェーダー機能を設定する

使用状況に合わせて、フェードアウト時間、ウェイト時間、フェードイン時間を調整することができます。調整時間範囲は、カード、フェードイン、フェードアウトが0秒～10秒で、ウェイトが0秒～99秒です。0秒に設定すると、徐々に音量が上がったり下がったりすることなく、いきなり音声は切れて切り替わります。

●フェーダー動作について

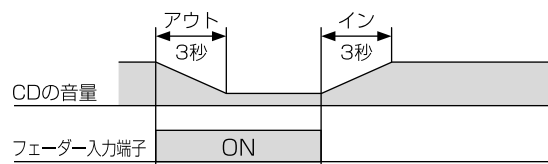
●カード演奏時、曲と曲の切り替わりのフェーダー動作

[フェータ°]			
カート°	アウト	ウェイト	イン
[3]	[3]	[4]	[3]



●フェーダー入力端子ショート時のフェーダー動作

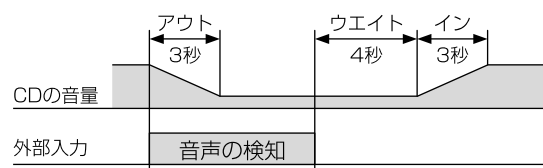
[フェータ°]			
カート°	アウト	ウェイト	イン
[3]	[3]	[4]	[3]



※プログラムおよびDIPスイッチは外部優先の設定

●外部入力の音声検知時のフェーダー動作

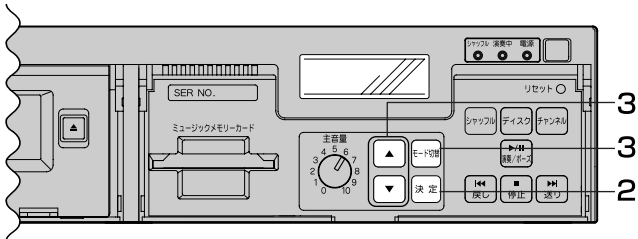
[フェータ°]			
カート°	アウト	ウェイト	イン
[3]	[3]	[4]	[3]



※プログラムおよびDIPスイッチは外部優先の設定

設定のしかた

●フェーダー機能の設定のしかた



1 フェーダー設定モード画面を表示する

表示方法は、「設定画面を表示する」(→40ページ)をお読みください。
カードの数値が反転表示になります。

[フェータ [°]]			
カート [°]	アウト	ウエイト	イン
[3]	[3]	[4]	[3]

2 決定を押して、調整したい項目を選択する

決定を押すごとに、反転表示が切り替わります。
右記は、アウトを選択した例です。

[フェータ [°]]			
カート [°]	アウト	ウエイト	イン
[3]	[3]	[4]	[3]

3 ▲または▼を押して、時間(秒数)を調整する

- ▲ : 秒数が増えます。
- ▼ : 秒数が減ります。

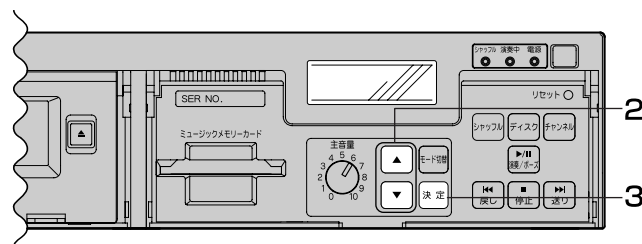
- ほかの項目を調整する場合は、手順2、3をくり返します。
- すべての調整が終わったあとにモード切替を3回押すと、スタンバイ画面に戻ります。
- 調整範囲は、以下のとおりです。
カード、フェードイン、フェードアウト：0秒～10秒
ウエイト：0秒～99秒

[フェータ [°]]			
カート [°]	アウト	ウエイト	イン
[3]	[10]	[4]	[3]

内部時計を1時間単位で調整する

内部時計を1時間単位で進めたり、遅らせたりすることができます。

調整可能時間は、+1時間または-1時間です。

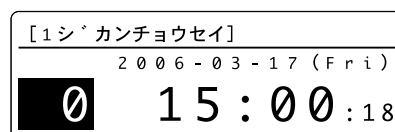


- この操作では、時間以外は調整することができません。年数・日付・分・秒を調整する場合は、「内部時計の時刻を合わせる」(→42ページ)または「内部時計を0秒にリセットする」(→43ページ)をお読みください。

1 1時間調整モード画面を表示する

表示方法は、「設定画面を表示する」(→40ページ)をお読みください。

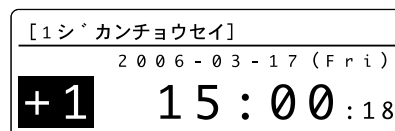
「0」が反転表示になります。



2 ▲ または ▼ を押して数値を選択する

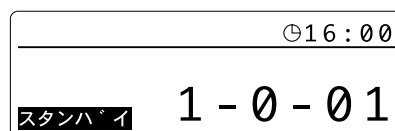
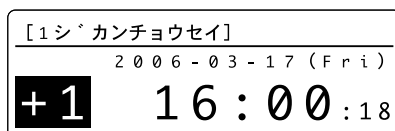
▲ : 内部時計を1時間進めます。

▼ : 内部時計を1時間戻します。



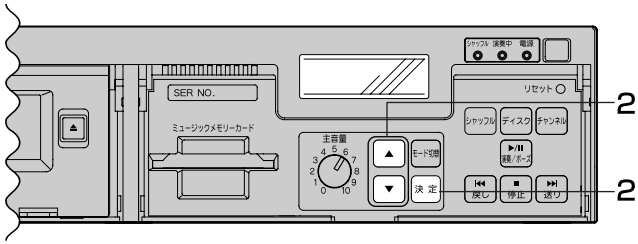
3 決定 を押す

選択した時刻に調整されたあと、スタンバイ画面に戻ります。



主音量機能を切り替える

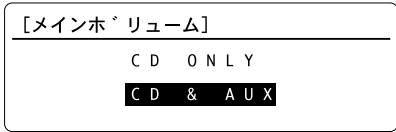
お買い上げ時の主音量つまみは、CD音量と外部入力音量の2つを同時に調整するように設定されています。主音量つまみで調整する音量をCD音量のみにする場合は、下記の設定を行ってください。



-
- 主音量機能切り替えは、外部入力をしていないときに行ってください。外部入力端子から音声を入力中に主音量機能を切り替えると、突然大きな音が出ることがあります。

1 メインボリューム切り替えモード画面を表示する

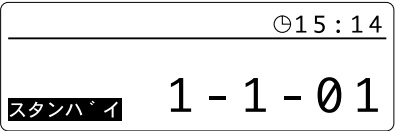
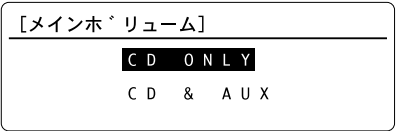
表示方法は、「設定画面を表示する」(→40ページ)をお読みください。
「CD & AUX」が反転表示になります。



2 または を押して選択し、 を押す

- CD ONLY : 主音量つまみで調整する音量を、CD音量のみにする場合。
- CD & AUX : 主音量つまみで調整する音量を、CD音量と外部入力音量の両方同時にする場合。

設定が完了すると、自動的にスタンバイ画面に戻ります。
●お買い上げ時は「CD & AUX」に設定されています。



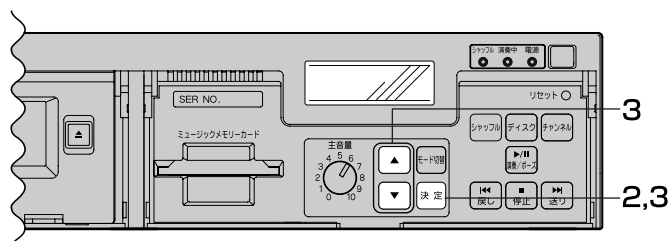
ミキシング音量を調整する

CD演奏と外部入力音声から同時に信号の入力があった場合、自動的に2つの音声がミキシングされます。このとき、どちらか一方の音量を、ボリューム設定モード画面で調整することができます。

どちらの音量を調整するかは、DIPスイッチ1（ディスク優先）の設定によります。（→50ページ）

CD音量または外部入力音量のレベルが最小（0）に設定されていると、ミキシングできません。

ミキシング音量の調整可能数値は、0～79です。



1 ボリューム設定モード画面を表示する

表示方法は、「設定画面を表示する」（→40ページ）をお読みください。

「CD」が反転表示になります。

メイン	25
CD	40
AUX	79
モニタ	00
MIX	00

2 「MIX」が反転表示されるまで、

決定 を押す

メイン	25
CD	40
AUX	79
モニタ	00
MIX	00

3 ▲ または ▼ を押して

数値を選択し、**決定** を押す

0 ：最小となり、音声は出力されません。

79 ：最大となり、音声を最大音量で出力します。

設定が完了すると、自動的にスタンバイ画面に戻ります。

メイン	25
CD	40
AUX	79
モニタ	00
MIX	15



①15:14
スタンバイ 1 - 1 - 01

DIPスイッチの設定

本機は、使用方法およびシステムの構成、機能の要否に合わせて、DIPスイッチを設定する必要があります。

番号	DIPスイッチ	ON（上側  ）	OFF（下側  ）	参照ページ
	機能			
1	ディスク優先 ^{※1}	本機のCD音声と外部入力音声のうち、本機のCD音声を優先して出力します。外部入力側のミキシング音量が有効になります。	本機のCD音声と外部入力音声のうち、外部入力音声を優先して出力します。本機側のミキシング音量が有効になります。	34
2	オートスタート ^{※1 ※2}	下記条件のとき、自動的に1番目の曲から演奏を開始します。 ・①電源「入」状態→②CDマガジン挿入 ・①CDマガジン挿入状態→②電源「入」	自動的に演奏開始しません。	12 22
3	連動	複数台の連動動作を有効にします。CDマガジン内の全CDを最終曲まで演奏したあと、連動出力が1.5秒間出力されます。	連動動作を行いません。	36
4	保持入力 ^{※1}	スタート入力端子はメイク信号で動作します。スタート入力端子にメイク信号が入力されているあいだだけ、CDが演奏されます。	スタート入力端子はパルス信号で動作します。スタート入力端子にパルス信号が入力されると、CDの演奏が開始されます。信号が途切れても演奏は続きます。	31
5	内部クロック	常に内蔵の水晶発振器で内部時計を歩進します。	通電時は電源同期で、停電時は水晶発振器で内部時計を歩進します。	51
6	未使用	常に「OFF（下側）」にしてください。		—
7	AGC	CD間、CD内の音声レベル格差を軽減して演奏します。	AGC機能を無効にします。	51
8	未使用	常に「OFF（下側）」にしてください。		—

※1：手動演奏時のみ有効

※2：AC電源投入時にオートスタートさせる場合は、電源スイッチが「入」（電源表示灯が点灯）の状態、AC電源を遮断してください。



●内部クロックについて

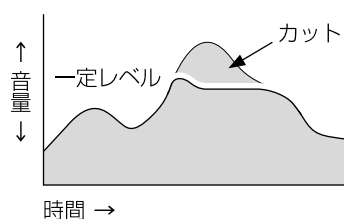
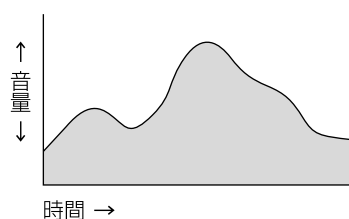
本機は、内部時計を内蔵しています。本機能は、内部時計の歩進を、内蔵の水晶発振器同期で行うか、電源周波数同期（50 Hz/60 Hz）で行うかを選択する機能です。

水晶発振器同期：時計の歩進を、内蔵の水晶発振器の周波数を数えることで決めます。水晶発振器同期は、精度は高いものの、温度変化や時間経過により、周波数が少しずつずれ、生じる時刻の誤差が累積するという特性を持っています。

電源同期：時計の歩進を、商用電源AC100 Vの周波数（50 Hz／60 Hz）を数えることで決めます。商用電源の周波数は、電力会社で常時周波数補正を行っており、内部時計の誤差は、ある一定範囲内に収まります。したがって、誤差が累積することはありません。ただし、電源事情が悪いところや、自家発電装置を使用しているところでは使用できません。また、無停電電源装置が作動しているときは正確に歩進できません。

●AGC機能について

CD音源は、デジタルの特徴であるダイナミックレンジの広い音源が録音されている場合があります。例えば、クラシックなどは、小さいレベルと大きいレベルの差が大きく、ロックなどは、大きいレベルで演奏されます。これらのCD間またはCD内のレベルの格差を少なくする機能がAGC機能です。AGC機能を使うと、下図のように大きなレベルを一定のレベルでカットして、CD間またはCD内のレベル格差を平準化します。



故障かな！？

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
電源が入らない	●電源コードが抜けていませんか？ ➡後面の電源コードを正しく接続してください。	28
CDマガジンが入らない	●CDマガジンに青色以外のトレーが入っていませんか？ ➡すべて青色のトレーにしてください。	12 22
スピーカーから音が出ない	●外部アンプから先のスピーカーケーブルが抜けていませんか？ ➡ケーブルを正しく接続してください。	外部アンプの 取扱説明書
	●ライン出力からのケーブルが抜けていませんか？ ➡ケーブルを正しく接続してください。	30
	●外部アンプの操作を間違えていませんか？ ➡外部アンプの取扱説明書をご覧のうえ、正しく操作してください。	外部アンプの 取扱説明書
シャッフル再生しない	●フェーダー入力端子を使用している場合に、フェーダー入力信号が入力されたままになっていませんか？ ➡フェーダー入力信号を正しく制御してください。	38
	●前面のシャッフル表示灯は点灯していますか？ ➡シャッフルボタンを押してください。	18
	●ミュージックメモリーカード（MMカード）が正しくプログラムされていますか？ ➡ミュージックメモリーカード（MMカード） 供給先へお問い合わせください。	—

必要なとき

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
連動動作しない	● 連動出力端子からのケーブルが外れていませんか？ ➡ ケーブルを正しく接続してください。	36
	● 後面のDIPスイッチ3（連動）は正しく設定されていますか？ ➡ DIPスイッチ3（連動）を正しく設定してください。	50
カード演奏しない	● ミュージックメモリーカード（MMカード）はきちんと差し込まれていますか？ ➡ ミュージックメモリーカード（MMカード）を奥までしっかり差し込んでください。	—
カード演奏のとき プログラム通り演奏 しない	● CDマガジンとミュージックメモリーカード（MMカード）の内容が合っていますか？ ➡ ミュージックメモリーカード（MMカード）に合ったCDマガジンを入れてください。	19
	● 本機の内部時計は合っていますか？ ➡ 時刻合わせを行ってください。	42
	● CDマガジンはきちんと差し込まれていますか？ ➡ CDマガジンをしっかり差し込んでください。 ※旧製品のCDマガジン（WB-MC5）は使用できません。	20
手動演奏できない	● ミュージックメモリーカード（MMカード）が差し込まれていませんか？ ➡ 手動演奏のときはミュージックメモリーカード（MMカード）を抜いてください。	—
	● CDマガジンはきちんと差し込まれていますか？ ➡ CDマガジンをしっかり差し込んでください。 ※旧製品のCDマガジン（WB-MC5）は使用できません。	12

エラーコード表

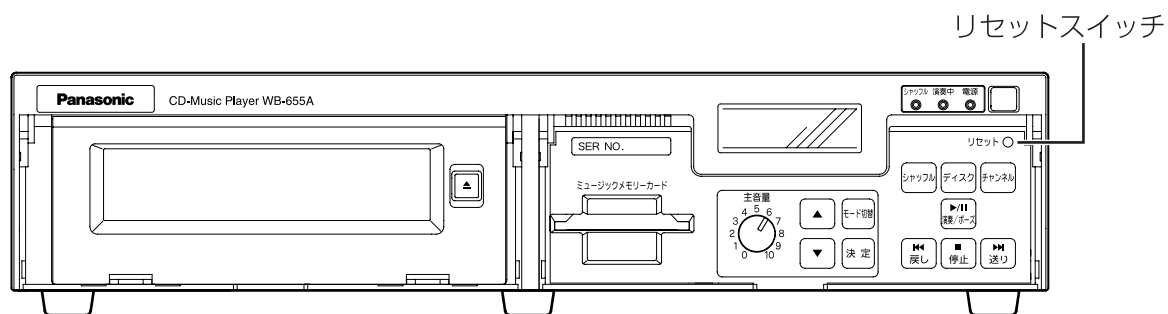
表示画面にエラーコードが表示された場合は、下表でエラー内容を確認して、適切な対処を行ってください。

エラーコード	エラー内容	対処方法
Err10	バックアップエラーです。	時計やその他の各種設定を正しく設定しなおしてください。
Err20	「カードくんⅠ」で作成したデータです。※	正しいカードに交換してください。
Err21～26	カード内のデータ異常です。	
Err30	CDマガジンに演奏可能なディスクがありません。	ディスクを交換してください。
Err31	ディスクイニシャライズ時に、ディスクのデータが読み出せません。	演奏／ポーズボタンを押すと、そのディスクは無しとして、次のディスクのイニシャライズに移ります。
Err32	CD-ROM形式のディスクを認識しました。	
Err40	演奏開始時にディスクのデータを読み出せません。	手動演奏時は、演奏／ポーズボタンを押します。カード演奏時は次のステップの時間が来ると解除されます。何度も起こる場合はディスクを交換してください。
Err41～42	演奏中に曲の頭だしができなくなりました。	
Err50～52	カード演奏時にプログラム指定の曲が見つかりません。	次にプログラムされているステップの時間が来ると解除されます。
Err61～66	ディスクチェンジャーの動作異常です。	電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

※：ミュージックメモリーカード（MMカード）によるカード演奏を行う際の、カードのデータ形式です。本機は「カードくんⅡ」に対応しています。

リセットスイッチについて

本機の動作異常などのトラブルが発生した場合、リセットスイッチにより本機をリセットすることができます。このスイッチを押すと、本機は再起動されます。（自動的に電源を切り、再度電源を入れる動作を行います。）内部時計や音量の設定値など、機器の設定値はリセット前の状態を保持します。



仕様

●基本仕様

電源	AC 100 V 50 Hz/60 Hz
補助コンセント	1個 最大2 A 非連動 ヒューズ内蔵
消費電力	21 W (スタンバイ時 10 W)
使用温度範囲	+5℃~+40℃
寸法	幅420 mm 高さ88 mm 奥行き317 mm
質量	約7 kg
仕上げ	パネル：AVアイボリー色（マンセル7.9Y6.8/0.8近似色）

●方式

形式	5連奏ディスク方式コンパクトディスクプレーヤー
ディスク収納枚数	5枚（トレイインマガジン方式）
信号読取方式	非接触光学式ピックアップ
信号フォーマット	CD-BGMフォーマット、CD-DAフォーマット
チャンネル構成	ステレオ4CH/モノラル8CH
演奏時間	1時間/チャンネル当たり
演奏形態	連続（曲順）演奏、シャッフル（ランダム）演奏
アクセス時間	4秒以内（ディスク内）
ディスクチェンジ時間	14秒以内（ディスク1→ディスク5）

●音声入出力

周波数特性	20 Hz (−1±3 dB) ~ 20 kHz (−1±3 dB) 1 kHzに対して
外部入力	入力レベル：0 dBV ピンジャック L/R（ステレオ） モノラル時 R側に接続 入力インピーダンス：10 kΩ 不平衡 S/N：80 dB以上
ライン出力	出力レベル：CD再生時 出力電圧=2 Vrms (CD音量調整ボリューム最大 EIAJ) +6 dBV (外部入力 0 dBV 入力時、外部入力音量調整ボリューム最大) ピンジャック L/R（ステレオ）モノラル時 R側に接続 適合負荷インピーダンス：10 kΩ以上

●制御端子

端子	ネジ式端子台
スタート入力	開放電圧 DC5 V 短絡電流0.05 mA 無電圧メイク接点およびオープンコレクター出力に適合
ストップ入力	開放電圧 DC5 V 短絡電流0.05 mA 無電圧メイク接点およびオープンコレクター出力に適合
フェーダー入力	開放電圧 DC5 V 短絡電流0.05 mA 無電圧メイク接点およびオープンコレクター出力に適合
連動出力	オープンコレクター出力 最大 DC25 V 0.1 A ミュージックメモリーカード（MMカード）使用時は、「外部制御出力4」として使用
動作中出力	リレー接点出力 接点容量 最大 DC30 V 0.5 A
時計同期入力	有極入力 DC24 Vに適合 メイク入力 開放電圧 DC5 V 短絡電流0.05 mA 無電圧メイク接点およびオープンコレクター出力に適合
連動入力	開放電圧 DC5 V 短絡電流0.05 mA 無電圧メイク接点およびオープンコレクター出力に適合
外部制御出力1、2、3	オープンコレクター出力 最大 DC25 V 0.1 A

●その他

モニタースピーカー	0.1 W
停電保証	20日間（メモリー、時計用バックアップ 内蔵2次電池）
内部時計誤差	±15秒/月 以下（25℃ 内蔵水晶発振器同期時）

設定シート

WB-655A 設定シート		お客様名称：
製造番号：		電話番号：()
設定年月日：年 月 日 ()		設置場所：
		設置担当：

■設定モード

ボリューム設定モード

メイン			
C D			A U X
モニタ			M I X

フェーダー設定モード

[フェーダー]			
カート	アウト	ウエイト	イン

レベル調整モード

[レベル] スタンバイ 1 - 1 - 0 1				
A	B	C	D	E

メインボリューム切り替えモード

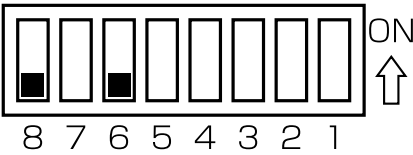
[メインボリューム]	
	C D O N L Y
	C D & A U X

演奏表示選択モード

⌚15:14 [*****] フレイ 1 - 1 - 0 1	2006-03-17 (Fri) フレイ 1 - 1 - 0 1 15:14:18	フレイ 1 - 1 - 0 1 15:14 :18
---	--	--

■DIPスイッチの設定（機能設定）

- 1 ディスク優先
- 2 オートスタート
- 3 連動
- 4 保持入力
- 5 内部クロック
- 6 未使用
- 7 AGC
- 8 未使用



必要なとき

保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■消耗部品について

光ピックアップ、スピンドルモーターは、磨耗性の高い部品ですので、定期的に交換をお願いします。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このCDミュージックプレーヤーの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

52ページ～53ページの表に従ってご確認のあと、なお異常のあるときは、電源スイッチを「切」にしてから、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

製品名	CDミュージックプレーヤー
品番	WB-655A
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル

パ ナ ハ ヨ イ フ



0120-878-410 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社および関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話をさせていただくための、ナンバーディスプレイを採用している場合があります。当社は、お客様の個人情報を、適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせはご相談された窓口にご連絡ください。

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品 番	WB-655A
	販売店名	電話（ ） —				

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687 東京都目黒区下目黒二丁目3番8号